



好きを、編む。
那須塩原市

令和7(2025)年度 公民館事業報告書



那須塩原市公民館

心豊かに 学び続けることのできるまち 那須塩原

～自分らしく たくましく 未来を拓く人づくり～

Fun & Exciting Education in Nasushiobara



那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策

目 的

○この那須塩原市公民館基本運営方針及び運営施策は、生涯学習の拠点となる公民館が那須塩原市生涯学習推進プランで定めた目的や課題に対応し生涯学習社会の実現を目指した事業実施を図るために定めるものである。

○また、その期間は、那須塩原市生涯学習推進プランの期間に合わせ、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とする。ただし、社会情勢の変化等により、必要に応じて適宜見直しを行うものとする。

基本運営方針

○公民館は、「人も地域も学びでつなぎ 未来につなぐ 那須塩原」を基本理念とした生涯学習推進プランに基づき、生涯学習社会の充実に向けて地域の特性を生かした施策を展開する。

○各公民館は、それぞれに運営方針、目標を掲げて具体的な事業計画を策定し、学びの機会の充実、学びを生かした地域づくり、学びを支える環境づくりに寄与する。

運営施策

- 1 **ライフステージに応じた多様な学習機会の提供**
(各年代のニーズに応じた講座の実施)
- 2 **人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供**
(健康づくりに関する講座の実施、地域の歴史・伝統芸能の継承支援)
- 3 **現代的課題に応じた学習機会の提供**
(情報化社会等、現代的課題に応じた各種講座の実施)
- 4 **地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進**
(地域学校協働本部事業、市民大学連携講座等の実施、育成会等地域団体の運営支援)
- 5 **家庭教育の充実**
(家庭教育支援事業の実施)
- 6 **学びの成果を生かす取組の推進**
(学びの発表の場の提供、地域で活躍する人材の育成)
- 7 **公民館の機能の充実と活用**
(シェアスペースの設置等による施設の有効活用、指定避難所機能の充実)
- 8 **公民館関連情報の提供及び相談体制の充実**
(ICTなど多様な媒体を活用した情報提供の充実)

令和7(2025)年度公民館事業報告書 目次

黒磯公民館事業報告書	1
厚崎公民館事業報告書	10
稲村公民館事業報告書	16
とようら公民館事業報告書	21
鍋掛公民館事業報告書	25
東那須野公民館事業報告書	30
高林公民館事業報告書	40
西那須野公民館事業報告書	48
狩野公民館事業報告書	53
南公民館事業報告書	60
西公民館事業報告書	66
三島公民館事業報告書	72
大山公民館事業報告書	79
ハロープラザ事業報告書	83
塩原公民館事業報告書	87
令和7年度公民館利用状況一覧表	90

※ 掲載している事業は、各公民館の主催事業のほか、各公民館が事務局を担っている団体(事務従事団体)の事業を含みます。
※ QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

令和7(2025)年度 黒磯公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地球にやさしい キッチンガーデン 教室 (市民)	有機栽培による野菜 作り、収穫などの作 業を通して、受講者 間の交流を図る。ま た、有機栽培で作っ た野菜を消費するこ とによるSDGsと の関係についても学 ぶ。加えて、夏季の 炎天下の作業を減ら し、収穫物を使用し た料理教室を行い、 多くの年齢層が楽し めるかつ食育にもつ ながる事業を行う。	4月～9月 (全10回)	13人 (115人)	有機栽培を通して、 土壌等の生育環境の 大切さも学ぶことが できた。炎天下の作 業を減らし、収穫し た野菜を使った料理 教室を行うことで食 育にもつながること ができた。猛暑によ り、1, 2時間開始 時間を早める等の工 夫をしたが、屋外で の作業には参加者の 体調管理に注意を要 した。また、暑さに より、野菜の生育状 況にも影響が出た。	市民大学連携講座
2	子ども探検隊 (黒磯小児童)	学校では体験でき ない各種学習や創 作活動等を通し て、創造性と協調 性を養い、豊かな 情操を育む。	6月～1月 (全8回)	31人 (200人)	福祉・SDGs・健 康・異国文化など を様々なテーマの 講座を通して、直 接体験をすること ができた。また、 黒磯高校の生徒に 講師をお願いし講 座を行ったこと で、互いの共育の 場となり、地域コ ミュニティの活性 化にも繋げること ができた。	
3	いきいきセミナー (地区内成人)	多様なニーズに対 応するため、学級 制は取らず、毎回 企画・募集を行い 実施する。ものづ くりや健康づくり のほか、実生活に 必要な知識を得る 講座を通じて、生 きがいのある充実 した人生を送るこ とができるよう支 援する。	6月～1月 (全7回)	(173人)	体を動かす講座、 ものづくり、移動 教室、断捨離講座 等、内容や開催日 時を工夫したこと で、今まで参加が 少なかった年代や 性別の方の参加が あり、利用者の幅 が広がった。ま た、Instagramに よる周知を行うこ とができた。	
4	アクティブシニア セミナーわかば (60歳以上の地 区内住民)	各種講座を通し て、生涯にわたる 学びの実践や仲間 づくり、健康づく りを促進し、生き がいのある充実し た人生を送ること ができるよう支援 する。	6月～1月 (全8回)	21人 (133人)	健康・教養・異文 化体験など、様々 な内容の講座を通 し、自己啓発・仲 間づくり・健康づ くりの促進に寄与 することができ た。	

5	夏休み子ども教室 (黒磯小児童)	夏休みの宿題への 取組を支援し、基 礎学習の習得を図 る。	7月23日 7月31日 8月5日	9人 (27人)	自分が興味を持っ た本を読み感じた ことを表現するこ とを学ぶことで、 言語化の難しさや 読書の大切さ、楽 しさに気付くきつ かけとなった。	
6	冬休み子ども教室 (黒磯小児童)	冬休みの宿題への 取組を支援し、基 礎学習の習得を図 る。	1月6日	1人	参加申込みが少な い中での開催とな ったが、参加者 は書初めの書き方 を学ぶだけでなく、 伝統行事に触 れる機会として充 実した時間となっ た。申込み範囲の 拡大や日程の変更 を行い、次年度も 継続して実施して いきたい。	
7	ものづくり講座 (市民)	創作活動を通し て、ものづくりの 楽しさを体験す る。	3月27日	7人	活版印刷の歴史に ふれながら、実際 に活字を選んで組 み印刷体験を行 い、デジタルとは 違う手作りの温か みや、活版印刷特 有のかすれや立体 感などを体感する ことができた。	
8	いきいきクッキン グ教室 (市民)	料理の楽しさを学 びながら、地域住 民の交流と親睦を 図る。	3月22日	13人	ぬか漬け教室を行 い、ぬか漬けの魅 力や発酵食品の健 康効果などを学ぶ と共に、参加者同 士の親睦を深める ことができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	いきいきハイキン グ (地区内住民)	ハイキングを通し て健康増進を図る とともに、参加者 間の交流を図る。	6月21日 10月29日	14人 12人	春は三春町城下散 策、秋は奥日光戦 場ヶ原に直接行く ことで、自然や歴 史、文化を五感で 感じることができ た。また、PV動 画を作成して募集 をしたため、定員 を超える申込みや 若年層の参加に繋 がった。	

2	百人一首かるた教室 (市民)	伝統文化の普及、継承を図ることを目的とする。また、学習成果を活かす場として、毎年開催している「関東北かるた大会」に参加する。	4月～3月 (全24回)	17人 (275人)	幅広い年代のかるた愛好者が参加し、伝統文化を学ぶだけでなく、世代間交流も図れていた。また、関東北かるた大会に参加したことが、更なる学習意欲の向上にもつながった。	
3	第68回関東北かるた大会 (かるた愛好者)	主に関東、東北地方から多くの参加者が集う歴史のある大会で、伝統文化の普及、発展を図るとともに、大会を通して世代間及び地域間の交流を図る。	2月1日	83人	県内外から幅広い世代の参加があり、大会を通して世代間及び地域間の交流にもつながった。また、昨年の反省点を基にブラッシュアップしたことで、より競技者ファーストかつスムーズな大会運営を行うことができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	みんなにやさしいICT推進講座 (地区内住民)	スマートフォン講座など、ICTに関連する講座を実施	8月26日、 27日 2月17日、 18日	8月 6人 (12人) 2月 5人 (10人)	シニア向けのスマートフォン講座を実施した。スマホの基本操作からカメラやラインといった日常に彩りを与える機能までを学び、デジタルデバイドの解消に寄与することができた。また、参加者間で能力に差が生じやすいICT講座であるが、本講座はグループ形式で受講することとしたため、参加者同士で不明な点を補うことができ、参加者間の交流にも繋がった。	
2	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集や報告について、班回覧のほか、市ホームページに掲載し広く周知する。	月1回発行	—	視覚に訴える紙面づくりを心掛けて情報発信をすることができた。また、講座のフォームによる申込方法は、24時間受付可能であり、受付・連絡作業の簡素化にもつながった。	

3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）（インターネット利用者）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（You Tube）で配信	通年	—	プロモーション動画を作成し、講座の募集を行ったことで、幅広い世代に関心を持っていただけるように伝えることができた。	
---	--	---	----	---	---	--

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第2回みんなでいきいきフェスティバル (主に地区内住民)	イベントを通して、地区内の住民交流の場とするとともに、子育て世帯が減っている黒磯地区のイメージを払拭し、地域一体となって活性化を図る。	9月28日	350人	自治会、黒磯地区更生保護女性会、子育てサポートステーション等と連携し、今後の地域を担う子どもやその保護者が主として楽しめるイベントを実施した。また、来場者アンケートの結果、97%の来場者がまた来たいと回答しており、子育て世代の充実に繋がる満足度の高いイベントを実施することができた。加えて、今年度は黒磯中学校生徒もブースを出して参加し、地域一体となったの活性化も図ることができた。	
2	感謝の会 (黒磯小)	お世話になっている方々を学校に招待し、手紙や花束、全校生による歌等のプレゼントにより、感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事業)	11月22日	247人	全校児童が感謝の手紙を書く活動を通して、日頃お世話になっている地域の方々への感謝の気持ちを醸成することができた。また、ミュージックフェスタと同日開催とし、児童の合唱等を鑑賞していただくこともでき、好評であった。	
3	キャンドルナイト協力 (黒磯小)	黒磯駅前活性化事業の一環として毎年開催されるイベント「キャンドルナイト」に協力する。 (地域学校協働本部事業)	6月14日 12月13日	21人 22人	6年生がスタッフとして参加し、準備等のお手伝いを経験することで、地域で行われる行事への理解が増し、地域への愛着を深めることができた。	

4	もったいない市協力 (黒磯小)	黒磯駅前活性化事業の一環として毎年開催されるイベント「もったいない市」に協力する。 (地域学校協働本部事業)	10月26日 3月29日	不参加	学校行事と重なっていたため、参加できなかった。	
5	町探検 (黒磯小)	2年生生活科校外学習「町たんけんに出発しよう」で、地域の施設や店舗に行き、そこで働いている人々や建物の様子などについて調べたり、地域の人々と触れ合ったりする。 (地域学校協働本部事業)	12月4日	37人	地域ボランティアの方々に、班ごとに引率として参加していただき、どの班も自分たちの希望の見学場所へ行き、安全に町探検ができ、地域の方と触れ合うことができた。	
6	ハローアルソン活動 (黒磯小)	長年ボランティアを行っている市内の方の講話を聞き、地域と連携して未使用タオルや文房具を集めてフィリピンに送ることで社会に貢献する。 (地域学校協働本部事業)	12月16日	45人	地域の中学校、高校、公民館、公共施設と協力することで、より多くの未使用タオルや文房具を集める活動ができた。自分たちも地域や社会に貢献できることを学ぶことができた。	
7	ボランティアで心を磨こう (黒磯中)	地域に出向き、地域のためにボランティア活動を行う。 (地域学校協働本部事業)	9月～12月 (10回)	50人	自分の得意な分野を生かして、地域のイベントにサッカーボウリングのブースを出す等のボランティア活動を行った。地域の方と楽しく触れ合うことができ、自己有用感が高まった。	
8	まちづくり出前授業 (黒磯中)	総合的な学習の時間に、まちづくり推進に関わる地域人材が講師となり授業を行い、地域のつながりについての理解を深め、地域社会への参画意識を高める。 (地域学校協働本部事業)	未実施		本年度は日課の見直しにより行事との調整が難しく、実施することができなかった。	

9	キャンドルナイト 用キャンドル作り (黒磯中)	黒磯駅前活性化事業の一環として、毎年開催されるイベント「キャンドルナイト」に飾るキャンドル作りを行い、地域に貢献する態度や、郷土への愛着を深める。 (地域学校協働本部事業)	6月14日 12月13日	20人 31人	文化活動部に加え、生徒会の募集により集まったボランティアや3年生の地域貢献活動の一環として参加した生徒など、多くの生徒がイベントに関わり、盛り上げることができた。	
10	もったいない市協力 (黒磯中)	黒磯駅前活性化事業の一環として毎年開催されるイベント「もったいない市」に協力する。 (地域学校協働本部事業)	3月29日	7人	新聞紙を使ったエコバック作りと、運営補助を行うことで地域と関わることができた。	
11	和楽器の授業 (黒磯中)	地域の和楽器演奏家の専門的な指導を通して、伝統楽器への知識と伝統文化について学ぶ。 (地域学校協働本部事業)	3月17日	67人	講師に加え黒磯高校箏曲部も指導補助に加わることで、より細やかな指導を受けられるとともに、伝統文化の継承・地域コミュニティの活性化に繋げることができた。	
12	花いっぱい活動 (黒磯小)	プランターに花苗を植える活動を通して、地域の環境美化に貢献するとともに、地域住民との連携を図る。 (地域学校協働本部事業)	黒小・黒中 5月30日 黒小・黒高 10月30日	57人 57人	黒磯小・黒磯中・黒磯高校と一緒に花苗を植える活動を通して、人と関わる楽しさや喜びを感じるとともに、学校・地域の環境美化に貢献する意識を醸成することができた。	
13	地域連携研修会 (黒磯中)	児童・生徒が自治会長をはじめとした地域住民と一緒に熟議を行う。 (地域学校協働本部事業)	12月23日	74人	「地域の活動に、より多くの小中学生が参加できるようにするには」をテーマにグループごとに意見交換を行った。地域連携の重要性を共有することができた。	
14	黒磯中学校地域学校協働本部会議	地域学校協働本部事業に関して、公民館が事務局となり情報交換会等を行い、学校と地域の連携を図る。 (地域学校協働本部事業)	7月10日 2月26日	31人 35人	各種事業の報告及び情報交換を行い、学校と地域の連携を深めることができた。また、中学生を招いてグループワークを行うことで、地域と中学生を繋ぐ大きな役割を果たすことができた。	
15	黒磯地区子供会育成会連絡協議会 (地区内児童親子)	各種事業を通して、地区子供会育成会を事務局として支援する。	通年	—	育成会活動に必要な各種手続きの窓口として、円滑な活動に寄与した。	

16	黒磯地区婦人会	婦人会が実施する各種事業について、事務局として支援、協力を行う。	通年	—	年間を通して、花壇の手入れ等を行い、地域婦人会の活性化と共に、公民館のイメージアップにもつながっている。	
17	自治公民館 (地区内住民)	公民館事業への協力を通じて、活動支援を行う。	通年	—	自治公民館長には運営協力委員として公民館まつりやイベントに協力いただき連携を図ることができた。	
18	いきいきふれあいセンター利用団体	貸館による活動拠点の提供や、活動成果の発表の場を設けることにより、各種団体の活動支援を行う。	通年	—	オンライン予約システムの導入や年間予約により利用団体の利便性向上につながった。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	校内教育講演会 (黒磯小・黒磯中)	講師を招聘し、教育の今日的課題についての講話を聴くことで、情報を共有し、課題に対する理解を深め、子供たちの健やかな成長を促す。 (家庭教育支援事業)	11月20日	265人	小・中学校合同で、親子でヨガを行い、呼吸法や正しい姿勢等について学び、身体の健康や心の安定について考える機会となり、親子の絆を深めることができた。	
2	学年行事 (黒磯小)	学年単位で遊ぶ・学ぶ・作るをテーマに親子の交流活動を実施し、親子の信頼関係や保護者相互の親睦を深める。 (家庭教育支援事業)	6月～10月 (全6回)	(427人)	親子ふれあい遊び・ディスコン体験・ものづくり・防災・ニュース編集長体験などの親子交流活動を通して、親子の絆を深めるとともに保護者間の親睦を深めることができた。	
3	親子花いっぱい活動 (黒磯中)	生徒・保護者・教員が共同で植栽活動することで、環境美化に寄与し、親子の絆を深めるとともに、学校への愛着心を育てる。 (家庭教育支援事業)	11月20日 2月3日	62人 20人	保護者・生徒・教員共同で花壇の植栽を行った。活動を通して、親子の絆を深めるとともに、学校や地域の環境美化に寄与し、環境意識を向上させることができた。	
4	親子奉仕作業 (黒磯中)	親子奉仕作業を通して、親子の絆を深めるとともに、感謝の気持ちを育てる。 (家庭教育支援事業)	5月11日 7月5日 8月30日	68人 96人 75人	親子で校庭の除草作業や植栽作業を行い、学校への愛着や感謝の情を培い、親子の絆を深化することができた。	

5	ものづくり教室 (黒磯中)	制作活動を通して、保護者と教員間の親睦を図るとともに、ものづくりのよさを体験する。 (家庭教育支援事業)	12月11日	10人	保護者・教員で活版印刷ワークショップを行い、保護者間及び保護者と教員間の親睦に繋げることができ、和やかな雰囲気醸成され、コミュニケーションの円滑化につなげることができた。	
6	立志式記念行事 (黒磯中)	元服にちなんで2学年を対象に実施し、将来の決意や目標を明らかにし、親への感謝の気持ちを表す機会とする。 (家庭教育支援事業)	12月19日	105人	生徒1人1人が誓いの言葉を述べ、決意を新たにすることができた。また、親子で餅つきを体験し交流を深めると共に親子の愛情を再確認する機会となった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第32回くろいそ 公民館まつり	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。	11月16日	850人	まつりに向けた練習や当日の発表を通じて、会員相互の交流にもつながり、持続的な活動につながる有意義なイベントとなった。また、子育てサポートステーション、社会福祉協議会が子どもが楽しめるブースを設置し、高校生ボランティア、社会教育実習生が運営に協力したため、子どもやその保護者等の若年層の来場や交流が図れた。加えて、それらの新しい来場者の創出が、利用団体の展示や発表のモチベーションアップに繋がり、更なる生涯学習の意欲向上に期待される結果となった。	
2	第68回関東東北かるた大会	施策2-3再掲				

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
-----	-------------	------	------------	----------------	----	----

1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	通年	包括管理を行う日本管財株式会社と連携を図り、随時修繕等の対応を行い、安全安心な社会教育施設の維持管理を行っている。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりとしてのスペースの提供	通年	通年	オンライン予約システムやフリースペースの利用促進を促している。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行			施策3-2再掲		
2	なすしおばら生涯学習チャンネル MTLK			施策3-3再掲		
3	黒磯地区子供会育成会連絡協議会活動支援			施策4-15再掲		
4	黒磯地区婦人会活動支援			施策4-16再掲		
5	自治公民館活動支援			施策4-17再掲		
6	いきいきふれあいセンター利用団体活動支援			施策4-18再掲		

令和7(2025)年度 厚崎公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	成人セミナー「アクト」 (地区内成人)	教養・芸術・ものづくり等様々な分野のセミナーを実施。 ①移動教室(ヤクルト工場見学・古閑裕而記念館) ②講話:「サキドリ朝ドラ」(大関和について) ③美温活リンパストレッチ ④津軽三味線&ギターの演奏会 ⑤ウッドバーニング ⑥中華まん教室 ⑦中華まん教室第2弾	6月~2月 (全7回)	①32人 ②26人 ③15人 ④36人 ⑤7人 ⑥14人 ⑦16人 (146人)	できる限り土日に開催した。 昨年度は60歳代以上で70歳代が参加の中心であったが、今年度は40、50歳代の参加者もあった。それぞれの講座で様々な体験を通して教養を高めることができた。 どの講座も好評だった。特に⑥中華まん教室は希望者が多かったため2回実施となった。	
2	高齢者学級「ときわ」 (地区内高齢者)	生きがいや仲間づくりのため「教養講座」「健康講座」を行う。	6月~2月 (全8回)	66人 (552人)	教養や健康、防犯教室、ものづくりなど幅広く学びや体験ができた。	
3	子どもチャレンジクラブ「ヒップホップダンスクラブ」 (地区内小学1~3年生)	りすコース ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。	5月~12月 (全10回)	24人 (218人)	ダンスの楽しさを学ぶと共に練習を重ねて上手くなる体験を感じることができた。10回目には大正堂くろ	
4	子どもチャレンジクラブ「ヒップホップダンスクラブ」 (地区内小学4~6年生)	うさぎコース ヒップホップダンスの上級の振り付けを学ぶ。	5月~12月 (全10回)	17人 (153人)	いそみるひいホール小ホールで家族や地域の人に向けて発表することで、連帯感や達成感を学ぶことができた。	
5	子どもチャレンジクラブ「体験教室」 (地区内小学1~3年生)	地区内小学生を対象に会員を募り、ものづくりや野外活動等、様々な体験を通して会員の興味関心の幅を広げ、仲間との活動の中で協調性やコミュニケーション能力の向上を図る。	6月~12月 (全6回)	16人 (82人)	昨年度は、1~3年生、4~6年生の学年別に実施していた「体験教室」を、引き続き実施。 しかし4~6年生は、参加者が少ないため、今年度は1~3年生のみとした。ものづくり、音楽体験、移動教室、調理実習などの様々な体験を通し、楽しみながら興味関心を持つことができた。 また、学年学校を跨いだ集団で実施することで参加者同士でのコミュニケーションを図ることができた。 参加者からは、また参加したいとの声があり好評であった。	

6	夏休み子ども宿題サポーター塾 (地区内小中学生)	夏休みの宿題である書道を支援する。	8月3日 (全4回)	児童37人 生徒11人 ボランティア高校生12人	公民館利用者有志3人、黒磯南高校ボランティア12人、社会教育指導員が講師となり指導に当たった。受講者に対し、講師数が少なかったが高校生ボランティアとの連携により手厚い指導ができた。受講した児童・生徒は、手厚い指導により満足感、達成感を感じていた。	
---	-----------------------------	-------------------	---------------	--------------------------------	---	--

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ディスコン大会 (地区内住民)	誰もが参加しやすいニュースポーツで地域住民の体力づくりと交流を図るため、ディスコン大会を開催する。	6月29日	120人	自治会から参加チームを募り大会を開催した。昨年と同様に20チーム以上の参加があり多数の方が交流を深められた。また、多くの運営協力委員の協力があり、スムーズに開催することができた。	
2	ソフトボール大会 (地区内住民)	スポーツを通じて若者から高齢者までが交流することで、次世代の地域活動の担い手とのつながりを作るため、ソフトボール大会を開催する。	9月7日	—	4チーム参加を催行条件としたが、3チームのみの参加となり実施できなかった。現在の自治会の状況などを踏まえると今後は実施が難しい。	
3	レザークラフト教室 (市民)	革細工の作製を通じて革に愛着を持つことで、ものを大切に使い続けようとする心情を育てる。	8月～9月 (全5回)	15人 (74人)	財布やカードケース、バッグを作製した。幅広い年齢層から参加があり世代間交流も生まれた。また、本講座を切っ掛けに自主サークルが結成され市民の生涯学習へ繋がった。	市民大学連携講座
4	趣味の講座「オリジナルリメ鉢を作ろう」	素焼きの植木鉢に、天然の陶土がベースになっている樹脂を配合した粘土を塗り、さらに着色や小物などでリメイクする。	1月～2月 (全2回)	9人 (18人)	80歳代の方も参加頂き生涯学習と結びついたと思う。また、講師の準備が丁寧にされておりスムーズに講座を実施する事ができ、とても参加者から好評であった。	

5	健康ハイキング	屋外での自然体験を推進し、心身の健康づくりを実践しながら、地域のつながりをつくる。 ・太平山神社・栃木花センター	5月24日	15人	太平山神社を起点に太平山に登り、名物料理を食べ栃木花センターの見学を行った。 一日中歩いていたが、午前と午後で見るものにも変化があり楽しく体力づくりができた。	
---	---------	---	-------	-----	--	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT講座	くらしに役立つスマホ講座として、スマホの基礎知識やインターネットの使い方に不慣れな人を対象に基本操作を学ぶ。	3月14日	8人	スマホの日常的な利用の疑問にフォーカスして講座を実施した。 小人数での実施にすることで、受講者のペースに合わせた講座を実施できた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る） （インターネット利用者）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット（YouTube）で配信	通年	—	今年度新規の動画は作成しておらず、動画での効果的な学習題材の検討が必要。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部会議 （本部委員・活動推進員）	地域学校協働本部会議 （地域学校協働本部事業）	6月、2月 （2回）	59人 （79人）	地域学校協働本部会議を開催。学校と地域の活動の情報共有が図れた。	
2	地域学校協働本部事業 あつさき地区ふれあい交流会 （地区住民、地区内地域活動団体、地区内学校教員）	あつさき地区ふれあい交流会 （地域学校協働本部事業）	10月1日	参加者 373人 一般観覧者 63人	参加団体を募り、8団体が参加した。 参加団体による学習発表の他に、児童生徒が地域の活動者・施設利用者と日光和楽踊りを踊って交流した。 例年、参加者全員が参加する演目は、和楽踊りのみだったが、今年度は、厚崎中学校生徒が企画、進行了した演目で全体交流が実施された。 会の運営については、実行委員の他に黒磯南高生徒会役員が司会、受付、記録、放送を担当し、小中学生が準備と後片付けを行い地域全体で作り上げる交流会となった。 実行委員からは進行為がスムーズであったとの意見があり、概ね好評であった。	

3	埼玉小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・稲作体験（田植え・稲刈り・お米の贈呈式） ・農園活動 ・掲示物・作品づくり ・おもちゃパーティ ・昔遊び・とんぼ団子づくり (地域学校協働本部事業)	5月～3月 (5回)	710人	地元農家、農協、PTA、ボランティアの協力により児童が活動することができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
4	共英小学校 地域学校協働本部事業 (児童・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・花いっぱい運動 ・感謝の会をひらこう ・昔の遊びにチャレンジしよう ・まゆ玉づくり (地域学校協働本部事業)	6月～1月 (4回)	887人	PTA、ボランティアの協力により、児童が活動することができ、学校と地域との協働・交流が図られた。	
5	厚崎中学校 地域学校協働本部事業 (生徒・地域住民)	各種事業を通し、学校と地域との協働・交流を図るため、以下の事業を実施した。 ・感謝の花プロジェクト (地域学校協働本部事業)	3月17日	116人	厚崎中学校区内の16施設に生徒が直接鉢植えの花を届けた。その際に、施設の職員と対談するなど交流を図れた。	
6	厚崎地区子供会育成会連絡協議会 (地区内児童と保護者)	・総会	4月～3月 (2回)	21人 (40人)	総会で、厚崎地区の育成会長が一堂に会し、情報交換を実施。LINEオープンチャット・地域ポータルコミュニティを作り、情報の共有が図れた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	埼玉小家庭教育支援事業 (児童・保護者)	親子ものづくり教室を通じ、家庭教育の向上を図る。 ・ジオラマ、キラキラシードーム・クラフト小物入れ、チョークアート作りを実施。 (家庭教育支援事業)	7月24日	147人 (保護者72人、児童75人)	どの講座も好評で親子で楽しくものづくりを体験できた。	
2	共英小家庭教育支援事業 (児童・保護者)	親子ものづくり教室を通じ、家庭教育の向上を図る。 ・ジオラマ、フルーツ小物入れ作りを実施。 (家庭教育支援事業)	7月27日	99人 (保護者50人、児童49人)	どの講座も好評で親子で楽しくものづくりを体験できた。	

3	厚崎中家庭教育支援事業 (保護者・教員)	移動教室を通じ、家庭教育の向上を図る。 那須烏山市方面 ①龍門の滝②山あげ会館③どうくつ酒造④和紙会館 (家庭教育支援事業)	6月20日	—	催行定員に満たず中止	
4	3校合同家庭教育支援事業 (地区内児童・生徒と保護者)	ものづくり等の親子教室を通じ家庭教育の向上を図る。 ・ベーグル作り ・クリスマスキャンドル作り ・鬼の飾り巻き寿司作り (家庭教育支援事業)	6月～1月 (3回)	47人 (保護者24人、児童20人、生徒3人)	親子で楽しく活動することができたと好評だった。 中学生親子の参加もあった。 夏休みの親子物づくり教室では体験できない調理も体験することができ好評だった。	
5	厚崎地区3校合同子育て講演会 (地区内児童生徒の保護者・教員)	子育てに関する悩みや解決策を共有し、子育て中の保護者に気付きと活力を提供する。 (家庭教育支援事業)	9月5日	500人	講演会は2部構成で実施した。 第1部は、実施するにあたり、事前に地区内児童生徒に生活アンケートを実施し、中学生が結果の分析発表を行った。 第2部は、生活に重要な睡眠に関するセミナーを講演した。 アンケート結果を分析発表し、講演に繋げることで自分ごととしてとらえる事ができ、より実になる講演となった。また、オンライン配信で多数の受講者に伝えることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館まつり (市民、利用団体)	社会教育・生涯学習活動の成果発表と団体間交流を目的に開催し、参加者による主体的運営を目指す。	11月30日	750人	昨年度は、プレ公民館まつりと公民館まつりで、2回のステージ発表を行ったが、今年度は11月30日の一日のみの開催とした。 まつり全体としては、作品展示、模擬店、体験コーナー、ステージ発表など幅広い年齢層が楽しく生涯学習活動に触れる機会を展開できた。公民館利用団体が、新しく模擬店を出店するなど地域の参加が進んでいる。 準備から片付けまで実行委員がコミュニケーションを取りながらスムーズに実施し、地域住民の交流や生涯学習の発展に寄与できた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	フリースペースエアコン設置工事、LPガス自然供給設備工事、剪定などを実施した。 エアコン設置することで、クーリングシェルトの役割を担い、ガスの工事は停電時においてのガス関連設備が使用できるようになった。利用者が、安全安心に利用できる環境を整えた。	
2	スマート公民館に向けた取組 (市民、利用団体)	公民館の利便性向上を図るため、必要なシステムの充実及び地域住民の居場所づくりを進める。	通年	—	QRコード決済端末が設置され、使用料徴収時に利用者の利便性が図られる。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	あつさき公民館通信の発行	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供するため、「あつさき公民館通信」を発行する。	月1回	—	公民館事業の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
2	厚崎公民館ホームページ	地区内住民に公民館事業や学校・地域の情報を提供する。	通年	—	公民館事業やコミュニティ情報の周知など地域に向けた情報の発信ができた。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK(見る・来る)	施策3-2再掲				

令和7(2025)年度 稲村公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子ども体験塾 (地区内小学生)	塾生を募り学校とは異なる体力づくり、ものづくり、芋掘り等を体験しながら、コミュニケーション能力を伸ばす。	5月～12月 (全8回)	18人 (126人)	様々な体験を通し、塾生の興味の幅を広げ、楽しく学ぶことができた。また、縦割り班で活動することで、異学年との交流も図ることができた。	
2	やしお学級 (地区内成人)	成人対象の学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～1月 (全8回)	25人 (157人)	8回講座全て実施。年間を通して学びや交流の場を提供し、受講者から「楽しく参加できた」との感想を多くいただいた。	
3	いなほ学級 (地区内高齢者)	65歳以上の高齢者学級。健康や生きがい、仲間づくりを目的として、教養・健康講座、移動教室などを実施。	6月～12月 (全7回)	25人 (152人)	全7回の講座で健康づくりやものづくりなど様々な内容を学んだ。生きがいを見つけ仲間同士の交流の場の提供ができた。	
4	宿題お助け隊【書道】【ドリル】 (地区内児童)	夏休み子ども向けイベントとして地域人材等を活用して実施。夏休みの宿題への援助をとおして、作品づくり、仲間づくりを図る。	7月31日 【ドリル】	6人	ドリルについては高校生ボランティア、書道については地区住民の協力を得て実施した。 両方とももう少し参加者を増やせるようにしたい。	
			8月5日 【書道】	8人		

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はつらつ講座 (地区内住民)	健康講座 家庭で簡単にできる健康体操を学び、健康寿命を延ばす。	5～6月 (実施3回)	20人 (55人)	ピラティスを中心に実施。受講者は意欲的に取り組み、楽しく学びながら健康増進を図った。	
			2月 (実施3回)	22人 (48人)	美温活リンパストレッチを実施。体を温めるツボやリンパの流れを意識したストレッチを学んだ。来年度も同内容の開催を希望する声が多かった。	
2	ハイキング (地区内住民)	ハイキングを楽しみながら健康増進を図り、地域住民間の交流を図る。本市や近隣市町の自然や文化を学ぶ。 6月…塩原方面 9月…福島県塙町方面	6月1日	24人	季節を感じながら歩く楽しさや自然とのふれあいを体験した。6月の回は、日光国立公園指定90周年と銘打ったイベントとなった。	
			10月10日	23人		
3	グラウンドゴルフ体験会・大会 (地区内住民)	地区内住民の健康増進と親睦を図ることを目的に実施。 6月に体験会を開催、11月に大会を開催した。	6月21日 (体験会)	28人	これまで体験会として実施していたが、今年初めて大会を実施。参加者多数で、盛況に開催できた。	
			11月22日 (大会)	29人		

4	第5回 稲村公民館ユーモア川柳コンテスト (地区内住民、勤務者)	今回は「好き」をテーマにユーモア川柳を募集。選者に優れた作品8点を選出してもらい、公民館だよりで発表した。入賞者には賞状と記念品。 応募作品は館内に展示し来館者を楽しませた。	募集 12月～1月 入賞者発表 2月20日 展示 2月25日～ 3月31日	応募 73人 作品数 87作品	コンテストも5回目となり、文芸に親しんでもらう機会の創出に継続して取り組んでいる。 今後も継続し、文芸創作に興味を持ってもらうよう、すそ野を広げていきたい。	
5	蕎麦打ち教室 (地区内住民)	地元の蕎麦打ち名人の指導で、初心者対象蕎麦作りを実施	12月20日	8人	年末の年越しそばが打てるよう、管内在住講師が本格的な蕎麦打ちを教えた。合わせて参加者の交流を促すことができた。	
6	味噌づくり教室 (地区内住民)	手作り味噌をすることで、参加者同士の親睦を図り、食に対する興味の幅を広げる。	1月15日	32人	毎年恒例の講座。昨年度と比べ多数の申し込みがあり、盛況だった。美味しい味噌の作り方を丁寧に教わり、手作りの良さを再確認できた。	
7	「好きを、編む。」講座 (市民)	仕事や育児などで平日の講座の参加が難しい若い世代をターゲットに、好きなことをちょっとずつ体験する講座を企画。タイトルは市のパーパスから。	2月7日 3月6日 3月14日	41人 (44人)	夜、土日開催でこれまでとは違う年代が参加できる講座を実施することができた。「夜だと参加できるので嬉しい」という声もあった。 参加者が女性だけだったので、男性も参加したいと思える内容を検討したい。	
8	市民大学連携講座「陶芸講座」 (市民)	初心者を対象に、課題作品の一輪挿しのほか、自由作品として皿や深鉢、置物などを作成した。	9月～10月 (全4回)	12人 (21人)	公民館施設である陶芸棟を活用し、利用団体である陶友クラブと連携し実施した。講座初めての試みとして益子の陶芸窯視察も取り入れ、参加者同士の交流ができた。	市民大学連携講座

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部 会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業に関して、公民館が事務局となり情報交換会等を行い、学校と地域の連携を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月20日 3月3日	25人 22人	学校と地域住民が協働で各種体験活動を実施することで地域の課題を共有し、解決に取り組むことができた。	

2	「寄せ植え講座」 (東原コミュニティ会員)	寄せ植え作品を作り、植物に親しむとともに、地域住民の融和を図る。	11月25日	20人	公民館を利用して行った共催講座で、昨年に引き続き実施。コストパフォーマンスもよく、会員の交流が図れた。屋外で実施。	
3	「ミニ門松づくり講座」 (東原コミュニティ会員)	年末の開催ということもあり、ミニ門松を作成した。	12月13日	12人	サンプルを参考に参加者が思い思いの作品を楽しく作成することができた。参加人数が少なく、来年度は内容を含め検討したい。	
4	夜の公民館	子どもたちを夜の公民館に集め、怖い話を聞いたのち、暗くした公民館内で肝試しを実施した。	8月2日	58人	子どもたちだけでなく、怖がらせ役の役員なども準備から楽しんで行い、保護者間の交流を図れることができた。	
5	稲子連研修会	「子どものほめ方・しかり方について」をテーマ那須教育事務所の職員に講演をいただいた。	9月30日	32人	那須教育事務所から講師を招き、講師の子育ての事例などから親と子の関わり合い方などを学ぶことができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ウインナーの飾り切り教室（3校の親子）	児童生徒の保護者を対象にお弁当などに活用できるウインナーの飾り切り教室を実施	4月5日	30人	お弁当作りに役立つ、楽しい切り方を学ぶことができた。また、教室を通じて親子のふれあいができた。	
2	稲村小親子ふれあい移動教室 (稲村小の親子)	移動教室を行い、親子のふれあいを深めるとともに、親同士の仲間づくりを行う。 (家庭教育支援事業)	7月24日	27人	(親子ふれあい移動教室) 館林市にあるカルピスの工場及び向井千秋記念子ども科学館を見学し、親子で学び合う良い機会となった。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も深められた。	
3	東原小親子ふれあい移動教室（東原小の親子）		7月30日	16人	(親子ふれあい移動教室) 福島空港のバックヤード及び須賀川市にあるムシテックワールドを見学し、親子で学び合う良い機会となった。また、異学年との交流や保護者同士の親睦も深められた。	

4	親子ものづくり教室（稲村小・東原小の親子）		8月9日	30人	(ものづくり教室) 稲村小・東原小の合同で開催。多くの方が参加。楽しみながらぎやかに宝石せっけん作りに取り組み、親子、保護者間の親睦を図ることができた。	
5	黒磯北中ものづくり教室（黒磯北中の親子）	ものづくりを通して、仲間づくりを行い、その後の子育て情報交換に役立てる。	12月13日	9人	参加人数は少なかったが、和やかな雰囲気ですめ縄リース作りを実施できた。中学生も一緒に参加したくなるようなプログラムにすることが課題。	
6	3校合同講演会	児童生徒の保護者を対象に講演会を実施 「ハーブ演奏と森の話」	12月21日	34人	ハーブの演奏を聞いた後、国産材によるハーブづくりについて話を聞くことができた。また、異なる学校の児童生徒の交流や保護者同士の親睦も深められた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村公民館まつり ※いなむらコミュニティ主催「いなむらまつり」と同時開催	公民館主催講座受講者の作品、地区内住民の文化活動、公民館利用団体の活動の発表の場となった。 また、いなむらコミュニティ主催の「いなむらまつり」と同時開催とすることで模擬店などの出展によりまつりとしてのにぎわいも創出した。	11月1, 2日	参観者 1,000人	大研修室・多目的ホール半分を使用したくさんの作品を展示することができた。 また、ステージでは、サークル発表のほか、小中学校の合唱、黒磯高校吹奏楽部による演奏などステージ発表が充実した。 さらに今回初めて地域コミュニティのまつりと同時開催として実施した2日目は、ロビーや屋外会場に人が溢れるなど多くの方が来場し大いににぎわった。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シェアスペースの設置	旧図書スペースを再整備し、施設内の有効活用及び人と人との交流の場を提供する。	通年	—	小中学生を中心に利用が増え、放課後に集える「子どもの居場所」として浸透している。高校生、一般の方の利用もあり環境整備に努めた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	稲村公民館だより 発行	公民館事業への参加者募集や活動内容、地域の話題等紙面を通して、公民館の理解・地域交流等の促進を図った。	通年 (全12回)	—	毎月の発行により、公民館が周知したい情報や地域住民が知りたい情報を発信することができた。	
2	ホームページ、 Instagramの活用	公民館事業への参加者募集や活動内容について、各媒体を通じて発信することにより、公民館の理解・地域交流等の促進を図った。	通年 (随時)	—	ホームページはこまめに更新し、公民館が周知したい情報や地域住民が知りたい情報を発信することができた。今年から教育部のInstagramが開設したことを受け、初発信を行った。	

令和7(2025)年度 とようら公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら学級 (地区内高齢者)	健康で充実した生活を送れるよう、ものづくりや健康講座等を実施。	6月～2月 (全8回)	13人 (61人)	ものづくりやレクリエーション等を通して、充実した活動を行うことができた。作成した作品は公民館まつりに展示し活動の成果を発表することができた。	
2	おやじ教室 (地区内の成人男性)	地域社会への参加のきっかけづくりと地域と家庭内の自己有用感を高めるよう、料理教室やものづくり等を実施。	6月～2月 (全8回)	7人 (31人)	ものづくりや料理教室等では受講者同士が和気あいあいとした雰囲気の中で活動を楽しむことができた。	
3	子ども公民館 (地区内児童)	創作、運動、文化活動等を通して、学年を越えた交流を図る。	6月～1月 (全8回)	15人 (61人)	多岐にわたる体験活動を実施し、ほとんどの活動が好評であった。	
4	ちびっこ教室 (地区内乳幼児とその保護者)	リトミック教室、ベビーマッサージを開催。	6月～9月 (全5回)	10組 (23組)	活動や体験を通して、子育てについて学び、保護者間の交流を図ることができた。	
5	チャレンジキッズ (地区内児童とその保護者)	身近な自然やもの、地域のくらしに関わる様々な体験活動。光るどろだんご作り、木工教室、とんぼ団子作りを実施。	6月28日 8月9日 1月10日	32人 8人 14人 (1月10日は子ども公民館と合同開催)	普段できないような活動を親子で行った。家族や地域の人々とのつながり、身近な楽しみに気付く貴重な機会になった。	
6	WAKUWAKU 《食す》編 《作る》編 《健やか》編 (日新中学校区内住民)	小学生から高齢者までの幅広い層が対象。健康で豊かな生活を送るための食や健康、ものづくり等に関する体験活動を実施。	6月～2月 (全12回)	74人 (142人)	それぞれのジャンルにおいて様々な体験活動を実施し、楽しく実践的な活動が展開できた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	子どもお囃子教室 (地区内児童)	コミュニティ事業「ふれあい夏まつり」や「とようら公民館まつり」でのお囃子演奏者の育成を目的に、お囃子の練習を実施。	7月～11月 (全13回)	20人 (230人)	「ふれあい夏まつり」及び「公民館まつり」に出演し、演奏を披露することができた。お囃子を通して伝統文化に触れる良い機会となった。	
2	とようらハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して、歩くことの楽しさを体験し、健康増進を図ることを目的に実施。	7月1日 10月11日	18人 雨天中止	日光の戦場ヶ原を怪我無く歩くことが出来た。ガイドのもとで貴重な体験をすることが出来た。参加者からも大変好評だった。	
3	【新規】 歴史講座 (市民)	那須地域の歴史にスポットを当て、地域への関心と愛着を育む。	12月～1月 (全3回)	13人 (35人)	那須塩原市の戊辰戦争をテーマに、移動教室1回、講義2回を実施。参加者から大変好評だった。	

4	スポレクまつり (地区内住民)	とようらコミュニティ推進協議会と協力し、スポーツ・レクリエーションを通じて、地域の高齢者や大人、子どもの3世代が交流を図ることにより、親睦と連帯意識を高めるとともに健康で明るい地域づくりを目指して実施。	10月19日	400人	豊浦小学校体育館を会場として開催。参加者が多く、好評であった。地域を挙げたイベントとなった。	
---	--------------------	---	--------	------	--	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	消費生活セミナー (市民)	シニア世代に多く見られる消費者トラブルの具体例について学び、自衛のための知識の習得を目指す。	2月5日	13人	2部構成として、1部は特殊詐欺や悪質商法、2部はインターネットトラブルをテーマとして実施した。クイズや動画視聴などを取り入れ、受講者は詳しく学べたと好評を得た。	市民大学連携講座
2	ちょっとだけPC相談室 (地区内住民)	『相談室』として通年で開設。WindowsやWord、Excel等についての「ちょっとだけ聞きたい」という相談に対応し、機器操作習得等の促進を図る。	通年	1人 (5人)	PCに関するトラブルや悩みを解消することで、個人のスキルアップにつながった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	Work Work 体験 in 日新 (地区内児童生徒・市民)	地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発するため、地域住民が様々な体験活動の講師として参加し、児童生徒と交流する。また、活動を通して日新中学校区小中一貫教育目標である「ふるさとに誇りをもち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成」の具現化を図る。 (地域学校協働本部事業)	9月6日	683人	子どもたちへアンケートを実施したことで、希望が反映された体験活動を行うことができた。地域住民が講師として参加し、児童生徒と交流したことで、地域全体で児童生徒を育てる意識の啓発につながった。	
2	豊浦小地域行事参加 (豊浦小児童及び地区内住民)	地区内の各種行事へ児童が参加することで、地域の方との交流を深める。 (地域学校協働本部事業)	通年	—	「どんど焼き」など開催された行事に参加することができ、地域住民との交流を図ることができた。	
3	豊浦小感謝の会 (豊浦小児童及び地区内住民)	学校行事や登下校時の見守り等、地域のボランティアに感謝の意を伝えることを目的に「感謝の会」を実施。 (地域学校協働本部事業)	11月20日	325人	児童が心を込めた感謝の手紙や、花を渡すことにより、日頃からお世話になっている方々へ感謝の気持ちを表すことができた。	

4	とようらギャラリー (豊浦小児童及び 地区内住民)	地域住民の作品を学 校内に展示し、児童 と地域住民との交流 を深める。 (地域学校協働本部 事業)	通年	1団体	書道団体の作品展示 を行った。地域の方 々の作品を展示す ることで、児童と地 域住民との交流が深 まった。	
5	地域学校保健委員 会 (日新中学校区内 児童生徒及びPTA関 係者等)	日新中学校区の児童 生徒の健康課題につ いて、児童・保護 者・地域の方と協議 し、改善に向けて話 し合う。 (地域学校協働本部 事業)	9月11日	89人	「メディアとの上手 な付き合い方」と題 し、第1部では講師 が特別授業を行い、 第2部では代表児 童・教員・保護者・ 地域の方と一緒に研 究協議を行った。	
6	地域学校協働本部 会議 (地区内関係団 体)	日新中学校区の地域 学校協働活動の推進 を図るための会議を 開催。 (地域学校協働本部 事業)	6月6日 2月18日	24人 21人	情報交換、意見交換 を行い、学校と地域 の連携・協力による 具体的な活動につな がった。	
7	ふれあい夏まつり (地区内住民)	とようらコミュニ ティ推進協議会と協 力し、園児の踊り発 表、お囃子演奏や地 域内の団体等による 模擬店販売などを行 い、地域住民間の交 流を図る。	8月23日	700人	豊浦小学校校庭を会 場として開催。参加 者が多く、好評で あった。地域を挙げ てのイベントとなっ た。	
8	どんど焼き (地区内住民)	とようらコミュニ ティ推進協議会と協 力し、小正月の行事 である「どんど焼 き」を実施すること により、地域住民の 無病息災を祈り、地 域の連帯感・一体感 の醸成を図るととも に、地域の子供達へ の伝統行事の伝承を 図る。	1月10日	200人	活動を通して、地域 の連帯感の醸成や伝 統行事の伝承が図ら れた。	
9	とようらコミュニ ティ推進協議会	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行い、よ りよい活動を図る。	通年	—	豊浦小清掃等の事業 活動や総会、理事会 等会議開催に向けた 支援を行った。	
10	自治公民館	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行い、よ りよい活動を図る。	通年	—	自治公民館への情報 提供や事業活動の支 援を行った。	
11	豊浦地区子供会育 成会連絡協議会	関係団体との連携を 図るとともに、協 力・援助を行い、よ りよい活動を図る。	通年	—	会議開催及び地域イ ベントへの参加支援 を行った。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	豊浦小家庭教育支 援 (豊浦小児童及び 保護者)	体験活動やものづく りに挑戦し、親子の 交流を促す。 (家庭教育支援事 業)	8月1日 9月21日 11月22日	中止 16人 15人 (1-No6「WAKU WA KU」と合同開催)	親子で同じ体験をす ることにより、穏や かで楽しい時間を共 有することができ た。また、親同士の 交流も図れた。	
2	日新中家庭教育支 援 (日新中学校区内 住民)	日新中PTA組織の変 更に伴い、1-No6「 WAKU WAKU」とし て実施 (家庭教育支援事 業)				

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
-----	-------------	------	------------	----------------	----	----

1	とようら公民館まつり (市民)	公民館利用団体や地域住民の作品展示、公民館講座の紹介等を実施し、地域との交流を図る。	11月16日	300人	自主サークルの作品展示や発表のほか、模擬店などを開催し、地域住民の交流や生涯学習の発展に寄与することができた。	
---	--------------------	--	--------	------	---	--

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び地域住民の居場所づくりに必要な設備の導入。	通年	—	オンライン予約システムやフリースペースの利用促進を促している。	
2	とようら公民館まつり (市民)	6-Nº1再掲				

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	とようら公民館だより発行 (地区内住民)	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	通年 月1回発行	—	公民館事業の募集や報告等地域住民に情報を提供できた。	

令和7(2025)年度 鍋掛公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	わくわくチャレンジ塾 (鍋掛小)	児童を対象に体験活動、ものづくり等を行い児童の自主性と世代間交流を図る。	6月～1月 (全9回)	21人 (91人)	ものづくりなどを含め、なかなか体験できないことを親子で一緒に体験し新たな見分が広がった。次年度も是非という声があり好評であった。	
2	ダンス♪あそび塾 (鍋掛小)	児童を対象にヒップホップダンスを学び、体力づくり、仲間づくりを図る。	5月～1月 (全11回)	27人 (256人)	担当指導者の人気もあり昨年よりも多くの参加があった。様々な学年の子供達が、目標に向かって1つになり、ステージで発表することから、学び合える楽しさを味わうことが出来た。	
3	なべかけふるさと講座 (鍋掛小)	児童を対象に鍋掛地区の正月遊びなどの伝統行事の継承を図る。	7月26日 12月28日 1月5日 (全3回)	お習字 5人 お習字 3人 お面づくり3人 (11人)	習字(夏・冬)やお面づくりをおこなった。出来上がったお面を被り楽しんでた。今後も継続し伝統行事の継承を図りたい。	
4	なべかけ学級 (地区内高齢者)	高齢者が健康で生きがいのある生活を送るための知識を深めるとともに、学級生同士の交流を図る。	5月～1月 (全10回)	22人 (129人)	講座を通して仲間づくりや新たな発見があり毎回楽しめたという声が多かった。毎年リピーターが多いが、新たな参加者を募ってきたい。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して健康増進を図るとともに、参加者間の交流を図る。	6月7日	11人	羽黒山を散策した後、こいしや食品(株)直売所に立ち寄り、健康維持と共に親睦が図れた。	
2	グラウンドゴルフ交流会 (地区内住民)	健康増進を図るとともに、地域住民の親睦を深め、明るい地域づくりを目指す。	6月30日 11月30日	26人 26人 (52人)	親睦と健康維持を目的としグラウンドゴルフ体験会を実施した。参加者からは楽しかったと好評であった。	
3	ものづくり講座 (地区内住民)	壮年を対象にものづくりなどを通して、生きがいづくり、仲間づくりを図る。	9月 (全3回)	箔絵体験 10人 ミニフォトアルバム 8人 布鉢花 9人 (27人)	箔絵体験、ミニフォトアルバム及び布鉢花を作成し、千人展で展示した。素敵な作品に仕上がりと、仲間づくりも出来好評であった。	

4	奥州道中歴史講座 (地区内住民)	市民に鍋掛地区をとおる奥州道中の歴史や史跡を紹介し、郷土愛と地域の活性化を目指す。	10月～2月 (全5回)	25人 (103人)	毎回人気のある講座で、地元の歴史を学ぶことができ好評である。	
5	健康教室 (地区内住民)	壮年を対象にストレッチ等による健康維持と仲間づくりを図る。	11月～12月 (全3回)	6人 (16人)	体幹を鍛える体操を実施し、参加者からは、「腰痛が良くなった」「続けてみたい」等声があり、健康維持と仲間づくりが図れた。	
6	正月飾り教室 (地区内住民)	壮年を対象に日本の風物詩である年越しの行事や正月飾りを学ぶとともに地域住民の親睦を図る。	12月7日	9人	寄せ植えを行いながら、参加者同士の交流が図れた。	
7	料理教室 (地区内住民)	壮年を対象に料理を通して、生きがいづくり、仲間づくりを目指す。	1月～3月 (全4回)	13人 (45人)	お料理を学びながら、参加者同士の交流場となり、好評であった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座	I C Tに関する講座を実施	7月 (全4回)	9人 (29人)	動画編集やSNSの操作について詳しく学ぶことができ、参加者同士の交流が図れ、趣味の幅が広がったと好評だった。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	日新地区地域学校協働本部会議 (地区内関係団体)	地域と学校が協働して児童生徒を育てよう情報交換をする。 (地域学校協働本部事業)	6月6日 2月18日 (2回)	24人 21人 (45人)	情報交換、意見交換を行い、学校と地域の連携・協力による具体的な活動に繋がった。	
2	WorkWork体験 in 日新 (地区内小中学生・市民)	地域住民との活動を通して、児童・生徒相互の連帯感や友情を深める。また、PTA、学校、公民館の共催事業とすることで、地域全体で児童生徒を育てる意識を啓発する。 (地域学校協働本部事業)	9月6日	683人	日新中学校区の児童生徒が、混合グループに分かれ27団体と体験活動を行うことにより、相互の連帯感や友情を深めることが出来た。また、地域住民や外部講師との交流も図れ、地域の資源・魅力を再発見することができた。	

3-1	親子ものづくり (鍋掛小5年)	稲刈り体験 (地域学校協働本部事業)	10月2日	児童36人 PTA25人 講師4人 (65人)	自分たちの手で苗を植え、稲刈りを行うことで、食物を大切にしようとする心を育てることができた。また、地域の方や保護者と共同で作業を行うことを通して、感謝の気持ちを育てることができた。	
3-2	美化活動 (鍋掛小全年)	苗植えを通して共に作業する喜びを感じるとともにふれあいと校内美化に務める。 (地域学校協働本部事業)	10月29日	児童170人 PTA5人 (175人)	他学年の児童と交流が深まった。	
3-3	親子ものづくり (鍋掛小3年)	親子で絵手紙作り (地域学校協働本部事業)	6月18日	児童23人 PTA23人 (46人)	親子のコミュニケーションを深めることができた。	
3-4	親子ものづくり (鍋掛小1年)	親子でリース作り (地域学校協働本部事業)	10月8日	児童25人 PTA26人 (51人)	親子のコミュニケーションを深めることができた。	
3-5	感謝の集い (鍋掛小全年)	日頃からお世話になっている地域の方に対して、感謝の気持ちを表す。 (地域学校協働本部事業)	11月14日	児童152人 一般12人 (164人)	心を込めた感謝の手紙や鉢植えを渡し、日頃からお世話になっている方々に、より深い感謝の気持ちを伝えることができた。	
3-6	親子ものづくり (鍋掛小6年)	卒業にむけての手作り教室 (地域学校協働本部事業)	1月20日	児童34人 PTA30人 (64人)	スマートフォンやインターネットを正しくつかうにはどうしたらよいのか親子で考え、感じたことを手紙に書き交換したことでコミュニケーションを深めることができた。	
3-7	ミシン作業支援	ミシン作業の手伝いをしてもらうことで、地域のかたと触れ合える喜びを味わう。 (地域学校協働本部事業)	10月31日 11月4日 2月26日 2月27日 (4回)	5年児童36人 6年児童35人 (71人)	ミシンの使い方を教わったり実際に作業を行う中で、地域の方と触れ合い、交流が深まった。	
3-8	鍋掛に棲息する生き物の講話 (鍋掛小3年)	地域の方の講話を聞き、美しい自然を守り大切にしようとする心を養う。 (地域学校協働本部事業)	12月10日	児童35人 講師1人 (36人)	地域の自然への関心の向上につながった。	
3-9	和太鼓指導 (鍋掛小クラブ)	和太鼓指導 (地域学校協働本部事業)	5月27日～2月3日 (全11回)	児童10人 講師1人 (11人)	和太鼓を演奏する技術が身につく、伝統文化への理解が深まった。また、礼儀作法、協調性、向上心や表現力等が身についた。	

3-10	餅つき (なべかけまつり)	餅つき倶保存会に所属していた方、PTA役員に協力をいただき、全校児童が交代で餅つきをおこなう。 (地域学校協働本部事業)	11月9日	児童159人 PTA60人 一般・その他多数	地域の方とのふれあいを通して、地域の一員としての意識が高まり、昔から続く伝統行事のよさにふれることができた。	
4	なべかけまつり (市民)	鍋掛地区の産業や文化を発表や展示などをおして地域の方々に紹介し、地域住民のふれあいや地場産業の発展を図る事業に事務局として協力する。	11月9日	1,000人	コミュニティを中心に、鍋小・日新中の児童生徒・地域の協力のもと、地域住民の交流と産業の活性化を図ることができた。	
5	鍋掛地区自治公民館支援事業	自主活動の支援協力を行う。	通年	—	自主活動を行った。	
6	敬老会	敬老対象者に祝い品等を贈る事業に事務局として協力する。	9月14日	248人	お菓子の詰め合わせと清酒を用意し、自治会長より対象者に配布した。対象者に喜んでもらえ、好評であった。	
7	子ども育成事業	各種事業を通して、地区子供会育成会を事務局として支援する。	通年 8月3日 12月26日 (2回)	子ども工作教室 33人 親子映画会 52人 (89人)	こども工作教室及び親子映画会を実施し、親子でのふれあいを行い、有意義な時間を過ごせた。	
8	鍋掛福寿会	鍋掛福寿会が実施する各種事業について、事務局として支援、協力を行う。	通年	—	花壇の手入れ等を行い、環境美化に努めてくれた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	家庭教育学級 (鍋掛小)	親子で協力して研修会や親子学習会を開催し、親子の絆や信頼関係を深める。	8月5日 10月15日 12月20日	・視察研修30人 ・研修会10人 ・親子学習会16人 (56人)	視察研修(いわき方面)、おこづかいから知っておきたいお金の話、ミニ門松作り体験研修を実施し、親子でふれあい共感しあうことができ、また、参加者同士の交流を深めることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	なべかけ千人展	公民館利用団体の活動成果の発表の場を提供し、各種活動の普及を促進するとともに、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げる。	11月9日 11月10日	(1,000人)	千人展へ向けた作品作りに意欲を持ち、利用者相互の交流を図り、地域の輪を広げることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館の利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	・支障木伐採・体育館に自動火災報知設備増設工事を行った。・多目的トイレ鍵修繕・外灯用タイマースイッチ修繕・体育館カーテンレール修繕を行い環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組（市民、利用団体）	公民館の利便性の向上に必要なシステムの充実及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入した。	通年	—	R6年1月10日より、オンライン予約システムが導入され、利用者にも浸透し、利便性が図られた。	
3	なべかけ千人展	施策6-1再掲				

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	—	講座の募集や、公民館行事等の情報提供をタイムリーにお知らせすることができた。	
2	ホームページ等での事業募集	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、ホームページ等で広報する。	随時	—	市民に公民館活動をPRできた。	
3	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環で、公民館地域・事業等の紹介をインターネットで配信	通年	—	未実施	

令和7(2025)年度 東那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	おもと大学 (65歳以上の地区内住民)	地区内の65歳以上の高齢者を対象に、教養講話、移動教室、体力づくり、音楽会、ものづくり等を実施する。	5月～12月 (全8回)	64人 (336人)	従来の参加型で開催。音楽会では全員で合唱するなど、高齢者の生きがいづくりや交流の促進を図ることで、高齢者の心身の衰え予防等に貢献することができた。	
2	成人セミナー (18歳以上の地区内成人)	地区内の18歳以上の成人を対象に、教養講話等を実施する。	6月～9月 (全3回)	1人 (3人)	おもと大学との共催で教養講座等を実施し、高齢者との交流も交えて幅広い知識の構築に貢献することができた。	
3	東那須野わんぱく少年団 (地区内児童)	小学校低学年を対象に、折り紙、野外昆虫観察、南極教室、星空観察、調理教室、昔遊び等を通じて、児童の情操教育を図る。	7月～10月 (全6回)	92人(児童のみ) (176人) ※延べ人数内訳 児童92人 保護者84人	主に小学校低学年と保護者を対象に、折り紙や野外観察、南極教室、星空観察、調理実習、昔遊びなど様々な体験を経験できた。アンケート結果では、児童と保護者ともに毎回高い評価を得た。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第21期東那須野おはやしクラブ (地区内児童)	地区内の小学生を対象に、地元の保存会を講師として、週一回ペースで、おはやしを練習する教室を開設する。	6月～11月 (全25回)	13人 (201人)	多くのイベントが再開したことにより、練習の成果を披露する機会が増え、受講生のモチベーションアップにもつながった。	
2	第41回東那須野地区自治公民館対抗ソフトボール大会 (地区内18歳以上の成人)	地区内の成人向け体育事業として、自治公民館対抗のソフトボール大会を実施する。	6月8日	89人	多くの地域住民の参加を促す目的で、令和6年度から女性も参加できる大会に変更した。今年度は連合チームで参加も可能とするルール変更を行うなど、たくさんの地域住民が楽しめる大会にしている。6チームがしのぎを削って大会を盛り上げた。	

3	第10回東那須野地区自治公民館対抗さいかつぼーる大会 (地区内18歳以上の成人)	地区内の成人向け体育事業として、自治公民館対抗のさいかつぼーる大会を実施する。	7月6日	43人	多くの地域住民の参加を促す目的で、令和6年度から男性も参加できる大会に変更した。今年度は連合チームで参加も可能とするルール変更を行うなど、たくさんの地域住民が楽しめる大会にしている。6チーム総当り戦で熱戦を繰り広げた。	
4	一貫張り体験講座	長年にわたり受け継がれてきた伝統工芸の技術に触れ、「ものを大切に作る」日本の文化を再認識する機会とする。	9月～10月 (全4回)	26人 (104人)	アンケート結果から、受講生の半数以上が作業内容が難しいと感じたことがうかがえるが、講師の丁寧な指導及び軽妙なやりとりにより、全員がそれぞれ納得の一品を楽しみながら完成することができた。受講生の満足度も大変高かった。	市民大学連携講座
5	夏休み宿題サポート教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に「自由工作コース」、「絵画コース」、「書道コース」など3コースを育成会と共催で実施する。	7月～8月 (全3回)	77人	募集定員を大幅に超える応募者があった。また、やる気のある児童が多数参加し、夏休みの課題に真剣に取り組んでいた。育成会の支援を受けたこともあり児童・保護者ともに高い評価を得ることが出来た。材料代や準備資材について、改善の余地があるものの継続して欲しいとの声が児童、保護者から多数あった。	
6	第11回こども書道教室 (地区内児童)	地区内の小学生を対象に冬休みそれぞれ1日(午前、午後の2回)実施する。	12月20日 (全2回)	18人	人気の教室のため、午前と午後の2部制で実施した。冬休み中の課題サポートや礼儀作法の習得に貢献した。	
7	ハイキング (地区内住民)	自然の中を歩くことで、住民の体力づくり、仲間づくりを図る。	9月20日	20人	生憎の雨であったが、日光杉並木のハイキングコースを怪我無く歩くことが出来た。専門ガイドの案内のもとで2班に分かれて、貴重な日光杉並木の歴史を学ぶことが出来た。アンケート結果も大変好評だった。	

8	健康ハツラツ講座	肩、腰、膝が楽になる機能改善体操	12月～1月 (全3回)	32人	比較的負荷の少ない体操で、家庭にある道具を活用しながら楽しく体操することができた。	
---	----------	------------------	-----------------	-----	---	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ブリヂストン栃木工場見学 (市民)	普段は見るできない工場内を見学することで、地域企業の役割を学習する。	10月15日	31人	募集定員を大幅に超える申込みがあったことから、関心の高さがうかがえる。工場職員の説明を聞くことで、様々な角度から地域に関する学びの場を提供することができた。秋休み期間に実施することで、親子での参加も多数あった。アンケート結果でも高評価を得た。	市民大学連携講座
2	プログラミング教室 低学年 (地区内児童)	プログラミングを学びながら、モノづくりへの関心と仲間づくりを支援する。マイクロビットを使って、プログラミングで動きをつける。	6月～7月 (全2回)	12人 (19人)	参加者は保護者同伴でとても興味深く受講。自分で課題に挑戦することで、プログラミングへの関心が深まった。アンケート結果でも高評価であった。講師の助手として専門学生の協力を得られた。	
3	プログラミング教室 高学年 (地区内児童)	プログラミングを学びながら、モノづくりへの関心と仲間づくりを支援する。スクラッチを使って、プログラミングで動きをつける。	7月～8月 (全4回)	12人 (41人)	参加者はとても興味深く受講。自作のゲーム作り等、プログラミングへの関心が深まった。最後に保護者を招き、自作のゲームをみんなで発表した。アンケート結果もとても好評だった。	
4	スマートフォン活用講座 ～もうひとりのできるもん Part2～ (地区内住民)	スマートフォン初心者から少しステップアップを目指し、初級～中級向け講座を実施する。	1月 (全4回)	15人 (57人)	スマホの安全な使い方、カメラ機能・QRコードの活用やLINEなどの便利機能を使いこなすことを目的とした講座を実施した。各自が機器操作をしながら繰り返し学習することで、基本的な操作の定着を図った。	

5	なすしおばら生涯学習MILK（見る・来る）	エール那須塩原家学（うちがく）プロジェクトの一環として、公民館事業や地域イベント等の紹介を実施する。	通年		公民館ロビーに設置されているモニターを通して、公民館利用団体の活動内容、公民館主催事業、地域イベントの動画等を、一年を通して発信した。	
6	エジソンドリーム教室	プログラミングや科学工作が体験できる教室	6月～12月（全4回）	45人	物づくりを通して、科学の面白さを子どもたちに伝えることができた。半田ごて等の専門の道具を使ったがケガもなく実施することができた。 アンケート評価でも高評価を得た。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第11回みね山花まつり (市民)	東那須野公園（みね山）において、おはやし、ブラスバンドの演奏やお楽しみ抽選会等のイベントを実施する。	4月6日	800人	東那須野公園を地域のシンボルと位置づけ、花を觀賞する市内外の方々に「春の東那須野地区のおもてなし活動」、「交流の場」として、地域の活性化及び一体感の醸成を図ることができた。	
2	絵本と出会うまちたんけん	地区内の小学1～3年生親子を対象に那須塩原駅周辺のまちたんけんと訪問先での絵本の読み聞かせを実施。学校と地域の交流促進を図った。	6月14日 (1回)	親子15組 29人	中学生のボランティアや民生委員児童委員などの支援もあり、地域学校協働本部事業として地域を知り、3校の児童・生徒・保護者、地域住民との交流や仲間づくりを行うことが出来た。	
3	みんなの会議	地域住民と児童生徒が一堂に会して、地域の祭りやイベントについて、また盆踊り大会の企画運営について話し合う。	5月30日 2月17日	53人 52人	・地域の伝統行事である盆踊り大会の企画運営について、ふれあい推進協議会役員と小・中学生でワークショップを実施した。 ・地域学校協働本部会議との合同開催による会議では、東那須野地区のお祭りやイベント等についてワークショップを実施した。	

4	東那須野地区ふれあい盆踊り大会 (市民)	那須塩原駅東口市営駐車場において、盆踊り大会を企画する。	8月16日	600人	みんな会議での意見を踏まえ、小・中学生ボランティアが盆踊り大会の中の「子どもお楽しみ会」を企画・実施し大盛況であった。地域の行事に携わり、地域住民との交流や仲間づくりを行うことが出来た。	
5	児童作品展	地区子ども会に所属している児童の作品や宿題サポート教室に参加した児童の絵画、工作、書道を展示する。	8月17日~ 8月22日	104人 (来場者数)	夏休み期間中に作品づくりを行うことによって、児童の健全育成を図ることができた。 宿題サポート教室で作成した工作や絵画等、多数の出展があった。	
6	東那須野公園水仙植栽 (地区内住民)	東那須野公園(みね山)において、水仙植栽事業を実施した。	10月25日	36人	自治会を中心に、小学生ボランティア、地元企業(ブリヂストン)も参加し、地域活性化の取組を継続することができた。	
7	那須野が原開拓まつり (市民)	「歴史・文化・食そして現在・未来へつながるまつり」であり「市民の一体感の醸成を図ると共に、地域の未来を担う子どもたちに光をあてた祭り」として開催する。	10月19日	10,000人	太鼓や伝統芸能など10団体が出演した。中学生による吹奏学部の演奏も会場を大変盛り上げていた。人気の巻狩鍋やカニ鍋など、27店舗が出店し多くの来場者の皆さんが舌鼓をうっていた。昨年を上回る盛況だった。	
8	東那須野地区花市 (市民)	那須塩原駅東口市営駐車場において、地域に継承される新年を祝う祭りを実施した。	1月12日	600人	巻狩鍋販売や射的、昔の遊び、子どもおはやし、なしおレンジャーのステージパフォーマンス、お楽しみ大抽選会など大いに盛り上がった。地元企業が花木販売を行ない、花市らしい風情が見られた。	
9	大原間文化祭(大原間小)	地域の協力団体等による各種体験活動を実施することで、地域との交流や子供たちの表現力の向上を図る。 (地域学校協働本部事業)	11月22日	1,100人(児童600人、PTA関係500人) 講師28団体	地域の方々の協力によって、多種多様な体験を行うことが出来、地域との絆を深められた。	

10	大原間小学校クラブ活動 (大原間小)	地域の指導者による各種体験活動を実施することで、地域との交流や伝統文化への理解向上を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (15回)	8人 (120人)	地域伝統芸能の三本木獅子舞を体験することにより、地域の歴史や伝統に興味を持つきっかけ作りになった。	
11	波立小学校花苗植え活動 (波立小)	全校生と教職員、保護者が協力して、環境美化活動(花苗植え)を実施する。 (地域学校協働本部事業)	6月12日 11月6日	74人 73人	花苗を植えることで自然に対する愛情を育むとともに、道路沿いの花壇を整備することを通して、地域との連携を図ることができた。	
12	波立小学校門松づくり (波立小)	地区の方に門松づくりを教えていただきながら、友達と協力して門松をつくる。 (地域学校協働本部事業)	12月22日	15人	日本の伝統文化である門松づくりの体験を通して、その良さを感じることができた。	
13	波立小学校感謝の会 (波立小)	日頃お世話になっている地域の方たちへ、感謝の手紙朗読と花束贈呈などを行う。 (地域学校協働本部事業)	11月22日	94人	日々の学校生活において様々な人たちに支えられていることに気づき、会を通して、日頃からお世話になっている方たちへ、児童から直接感謝の思いを伝えることができた。	
14	東那須野中学校みんなで作る花壇づくり (東那須野中)	学校敷地内の花壇整備を実施する。 (地域学校協働本部事業)	5月12日～16日 10月20日～24日	48人 48人	花壇づくりの体験を通して、生徒の環境美化意識の向上を図ることによって、地域環境美化の意識を育むことができた。	
15	東那須野地区ふれあい盆踊り大会の企画・運営協力 (東那須野中)	地域の盆踊り大会の企画・運営に協力し、地域の人との交流や郷土愛を深め、将来の東那須野地区のまちづくりの担い手を育てる。 (地域学校協働本部事業)	8月16日	30人	事前に主催者側と協議できたことで、主体的に盆踊り大会の運営ボランティアに参加することができた。将来のまちづくりの担い手を育てるための良い機会となった。浴衣の着付け教室や盆踊りの練習会を行い、構内を提灯で飾り、各教室に屋号を掲げるなど学校全体で地域の盆踊り大会を盛り上げるために様々な活動をおこなった。	

16	東中祭 (東那須野おはやし保存会)	東中祭で全校生及び保護者、地域の人たちにおはやしを披露し、地域の伝統芸能に親子で触れる機会をつくる。 (地域学校協働本部事業)	11月1日	674人	伝統芸能であるおはやしを親子で見学し、伝統芸能について魅力に触れる機会、地域を愛する心の育成の機会になった。後継者の育成に向けての啓発にもつながった。	
17	第30回東那須野公民館まつりの企画・運営協力 (東那須野中)	地域の祭りの企画・運営に携わることで、お祭りの大切さや地域の良さを知ることにより、地域の人との交流や郷土愛を深める。 (地域学校協働本部事業)	11月16日	19人	公民館まつりの運営ボランティアとして参加したことで、地域との交流を深め、地域の良さを知ることができた。郷土愛を深める良い機会となった。参加者、来場者からたくさんのねぎらいの言葉をいただいた。ボランティア以外の生徒も多数、参加してまつりを盛り上げてくれた。	
18	東那須野わんぱく少年団 (地区内児童)	施策1-3再掲				
19	第21期東那須野おはやしクラブ (地区内児童)	施策2-1再掲				
20	プログラミング教室 低学年 (地区内児童)	施策3-2再掲				
21	プログラミング教室 高学年 (地区内児童)	施策3-3再掲				
22	夏休み宿題サポート教室 (地区内児童)	施策2-5再掲				
23	エジソンドリーム教室	施策3-6再掲				
24	第11回こども書道教室 (地区内児童)	施策2-6再掲				
25	地域学校協働本部会議 (管内小中学校)	地域学校協働本部事業の推進に関し、関係団体で構成した会議を開催する。	5月30日 2月17日	34人 34人	地域学校協働本部事業報告及び事業計画、地域活動推進員の活動報告の情報共有を図った。 「みんなの会議」との合同開催により、小・中学生とワークショップを実施した。	

26	東那須野公民館運営協力委員会	公民館運営協力委員会の支援・連携・協力を行う。	通年		公民館・自治公民館主催の多くの事業が実施できたことから、スポーツ大会、公民館まつり、ハイキングなどのイベントにおいて、協力委員の活躍の場が広がった。	
27	東那須野地区子ども会連合会	子ども会連合会の運営及び事業の支援・連携・協力を行う。	通年		児童作品展や公民館まつり模擬店での、準備・運用・片付け等において、理事の連絡調整を図った。	
28	東那須野地区婦人会	婦人会事業の支援・連携・協力を行う。	通年		婦人会として活発な事業活動が実施された。各事業で連携、支援を行うことができた。	
29	東那須野地区自治公民館連絡協議会	東那須野地区の自治公民館連絡協議会での、運営及び事業の支援・連携・協力を行う。	通年		ソフトボール大会、さいかつぼーる大会、公民館まつりなど協力委員と共に運営の支援を行った。	
30	東那須野地区ふれあい推進協議会	コミュニティの運営及び事業の支援・連携・協力を行う。	通年		多くの事業を実施することができた。 盆踊り大会や那須野が原開拓まつり等イベントの運営に大勢の方が携わった。年間を通じての各種会議の運営や、イベントの準備等の支援を円滑に行うことができた。	
30	東那須野公民館利用団体連絡協議会	公民館の適正利用に関する協議・調整、年1回の施設清掃活動にあわせて消防訓練を実施する。	通年		公民館定例利用団体の連絡調整を行い、館の適正な利用について啓発を図った。日光市日光公民館への視察研修を実施し、相互の意見交換等、有意義な研修となった。	
32	東那須野地区遺族会	遺族会の運営及び事業の支援・連携・協力を行う。	通年		会員の減少、高齢化が進み、会の活動が難しい状況にある。会の円滑な運営のために引き続き支援する必要があるが、会の今後の在り方について議論することが必要。	

5 家庭教育の充実

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	だっこ！（親子ふれあい講座） （地区内未就学児と保護者）	未就学児と保護者を対象に、子育てについての講話や体操、ものづくり、リズム教育等を通じて、家庭教育の促進を図る。 （家庭教育支援事業）	6月～12月 （全6回）	9組19人 保護者9人 幼児10人 （72人）	家庭で孤立しがちな保護者同士の情報共有や仲間づくりの場として、親子あるいは親のみで活動し、交流することができた。途中、幼稚園への入園や育休復帰などで参加者が減少している。	
2	大原間小学校家庭教育支援事業 （大原間小）	大原間小学校学年部会と公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施する。 （家庭教育支援事業）	6月～12月 （全6回）	1,354人	学年部会行事を一堂に会して実施。同学年の保護者同士の情報交換が行われ、家庭教育の支援につながった。	
3	波立小学校家庭教育支援事業 （波立小）	波立小学校PTA学年部会と公民館が連携し、家庭教育に関する学習、親子交流事業を実施する。 （家庭教育支援事業）	7月～12月 （全6回）	114人	全学年の親子活動を通して保護者同士の情報交換を行い、家庭教育を支援することができた。	
4	東那須野中学校家庭教育支援事業 （東那須野中）	東那須野中学校PTAと公民館が連携し、家庭教育に関する学習を実施する。 （家庭教育支援事業）	11月27日	510人	小中交流事業として道徳後援会を開催し、家庭教育を支援することができた。	
5	東那須野中学校区合同家庭教育支援事業	3校合同の事業を実施。（視察研修、ものづくり） （家庭教育支援事業）	11月～1月 （全2回） （1回中止）	19人	視察研修では資生堂とカゴメで貴重な体験を共有することができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No	事業名	事業内容	期日	評価
1	第30回東那須野公民館まつり （市民）	公民館の講座、利用団体等の趣味の作品展示、学習成果の発表の場としてイベントを実施し、文化振興を図る。地域の中学生も企画段階から積極的に参加することにより地域との交流の輪を広げる。	11月16日	2,500人 （来場者数） 天候にも恵まれ昨年を大きく上回る多くの来場があった。地域の学校や各種団体との連携を強化した結果、学生ボランティアだけでなく一般の生徒の活躍の機会を広げることができた。関係者アンケートの結果も大変好評だった。

7 公民館の機能の充実と活用

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年		利用者が安全安心に利用できる環境を整備するために、年度を通して、施設の維持管理に努めることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備を導入し、実践する。	通年		オンライン予約システムが市内全公民館で運用が開始されたことにより、市民の施設利用において、オンライン予約が定着し、より利便性が向上した。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東公だより発行	地区住民に公民館事業や地域の情報を提供する。	月1回発行		主催事業の募集や実施報告、情報提供等を、毎月、地域住民に向けて発信した。	
2	なすしおぼら生涯学習MILK（見る・来る）	施策3-5再掲				

令和7(2025)年度 高林公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	寄せ植え講座	寄せ植えを通して、仲間づくりと感性豊かな心を育んだ。	5月25日 12月6日	68人	花を愛でること で心に彩りを与え られるとともに、仲 間づくりにもつな がった。	
2	キラリ！ TAKABAYASHIラ イフアップ講座 Part4	地域でキラリ輝い て活躍している方 を講師に招き、地 域のブランド力を 高め、充実した人 生を送ることがで きよう支援し た。 ①SDGsでエコ染 め ②就労者支援施設 について学ぶ ③クラフトテーブ でカゴ作り	8月～10月 (全3回)	26人 (46人)	地域でキラリ輝い て活躍している方 を知ること、地 域のブランド力を 高めることができ た。アンケートの 結果は、毎回ライ フアップにつな がった高評価。	
3	少年教室 「わくわく体験 楽好」	地域の特色ある環 境を利用し、学校 では体験できない 集団学習や活動 を通して、協調性 を養い、豊かな心 と創造性を育んだ。 ①スポーツチャン バラ ②夏休み木工教室 ③クッキング教室 (3回) ④冬休み書き初め 教室	6月～12月 (全4回)	45人	それぞれの教室を 楽しみ心豊かに なった。アンケー トでも高評価で あった。 今後も内容を創 意工夫して良い体 験となるようにし たい。	
4	高齢者学級 「いきいき学 級」	高齢者が心身共に 健康で過ごすため の生きがいづくり と仲間づくりを 図った。 ①開講式（お話三 度笠による講談） ②移動教室（日光 方面） ③ディスコン大会 ④保育園児との交 流 ⑤閉講式（那須野 三線の会による沖 縄音楽、ちよい耳 講座）	6月～12月 (全5回)	44人 (119人)	参加者同士のコ ミュニケーション ができて、いきい きと過ごすことが できている。昨年 に引き続き参加者 のアンケートによ る満足度は高く、 年度途中の参加者 も出てきている	
5	【新規】 身体ポカポカ冬 の薬膳講座	身体の温まる料理 体験を通して、身 体の健康増進、参 加者同士の交流を 促進する。	11月～12月 (全2回)	14人 (29人)	普通の食材で薬膳 ができることや、 野菜の切り方ひと つで大きく変化す ること等大いに学 びとなり、参加者 も満足しており、 アンケートも高評 価。	

6	大人の社会科見学	栃木県・群馬県の産業、歴史を学び、参加者同士のコミュニケーションを図った。 ①アサヒ飲料(株)群馬工場見学 ②野木町煉瓦窯館(ホフマン) 見学	3月5日	30人	慣れ親しんだカルピスの製造工程、また、ドイツ式のレンガ製造の館を見学することで、大いに学びとなった。今後もニーズにマッチングした企画を取り入れていきたい。	
---	----------	---	------	-----	---	--

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	楽しくきれいに健康セミナー	健康で生き生き過ごせるために、楽しく健康な身体づくりを目指すための学びの場を提供した。 ①エアロビ・かんたんピラティス ②ヨガ ③美温活リンパストレッチ	6月 (全3回)	47人 (121人)	応募者が多数であるため、なるべく参加できるよう講師と相談のうえ、1回ごとの時間を短縮し、同日に参加者を入れ替えし同講座を2回開催した。 6月を健活の月として、受講者の健康への意識を高めることができた。受講者からは、非常に満足だったとの回答を得た。	市民大学連携講座
2	郷土の歴史講座 (地元が語る郷土の歴史)	高林地区の古文書を読むことで史実のや歴史の理解を深め、現地を見学することで高林地区と黒羽藩との繋がりを実感することができた。 ※第4回目は、現地調査として大田原市周辺(黒羽藩)の史跡を巡った。	10月 (全4回)	31人 (104人)	受講者の学ぶ意欲が高く、講師のスキルも高く、質問への回答も的確であった。高林地区の歴史や黒羽藩との関りの歴史を学ぶことができ、良い学びとなった。	市民大学連携講座
3	グラウンドゴルフ大会	グラウンドゴルフを通して体力の維持と親睦を深めた。	5月21日 10月29日	16人 (30人)	体力の維持と親睦を深め明るい地域づくりができた。	
4	ソフトボール大会	ソフトボールを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	6月1日	146人 (9チーム) 9自治公民館	スポーツを通じ親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。開催時期を7月から6月に変更したことで、外気温が高温にならず、安全に配慮できた。	

5	輪投げ大会	輪投げを通じた体力維持と親睦を深め明るい地域づくりを図った。また地域の「高林麺道楽」慰問による蕎麦ふるまいにより明るい地域づくりにつながった。	6月11日	16人	高林福寿会連合会と共催。輪投げを通じ親睦を深め、笑顔があふれる事業となった。高林麺道楽の蕎麦ふるまいにより地域の活力倍増につながった。	
6	さいかつぼーる大会	さいかつぼーるを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	12月14日	103人 (12チーム) 6自治公民館	中学生から大人まで幅広い参加があり、スポーツを通じての親睦を深め、地域の人同士、また地域を超えた交流を図ることができた。	
7	ボウリング大会	ボウリングを通じた体力向上と親睦を深め明るい地域づくりが図られた。	2月28日	35人	高林子ども会育成会連絡協議会と共催。子どもから腕自慢の大人が参加。世代間交流とともに親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	
8	いきいき百歳体操	健康づくり及び仲間づくりによりいきいき明るい地域づくりにつながった。	4月～3月 (毎週水曜日・全34回) 8月、1月を除く	13人 (324人)	年度末に保健指導、体力測定、健康講話を実施。毎週継続的に参加することで、健康を維持できるとともに、高齢者が孤立しない仲間づくりもできた。高林地区以外の参加者が出てきた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	シニアスマホ講座	市のみるメールや市のLINE登録を行い必要な情報を得られるよう学ぶ。	—	—	中止となった 当初予定していた講師の都合が急遽合わなくなったため	
2	小中学生のプログラミング教室	プログラミングを学ぶことで、ものづくりへの関心と興味を育み楽しく学ぶ。	—	—	中止となった 当初予定していた講師の都合が急遽合わなくなったため	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域学校協働本部事業「高林中学校地域学校協働本部会議」	事業の情報交換等による学校と地域の連携を図った。 (地域学校協働本部事業)	6月、2月 (年2回)	19人 (36人)	会議は、地域の課題を話し合い、地域活動する上でできる取組を共有。次に進む道しるべを確認することができた。	

2	地域学校協働本部事業「高林そばフェスタ（高林中）」	地域に根付いているそば文化を、全校そば打ち体験を通して地域のそば職人より学ぶことにより、地域への郷土愛を育んだ。 （地域学校協働本部事業）	9月6日	111人	地域の団体に指導を受けながら蕎麦打ちを体験することで、地域産業に対する理解を深め、郷土愛を育むことができた。	
3	地域学校協働本部事業「花いっぱい運動（高林中・高林小・青木小）」	小中の児童生徒が協力してプランターを地域の事業所等に設置し、花木の世話を通じて地域の方々との交流等を行うことができた。 （地域学校協働本部事業）	11月10日～ 11月26日	348人	9年間を通じた学びの場として、児童生徒の「生きる力」を育み、また地域の一員であることの意識付けをすることができた。	
4	地域学校協働本部事業「野菜作り」（高林小）	サツマイモの栽培・収穫を通じて作物への関心や食べ物を大切にすることの態度を育てた。 （地域学校協働本部事業）	6月～10月	(82人)	自然の恵みや働く人々への感謝、生き物を育てる大切さ、安全に注意して協力してやりとげることの喜びの気持ちを育てることができた。	
5	地域学校協働本部事業「そば打ち」（高林小）	高林地区で活動している「そば打ち」の講師から指導を受け、地域に根付く文化を体験した。 （地域学校協働本部事業）	7月30日	7人	教員自らそば打ちを体験することで、郷土の食文化や活動の文化を理解することができた。	
6	地域学校協働本部事業「箏の体験教室」（高林小）	箏の演奏を聴くことや演奏の体験を通じて日本の楽器の理解を進めた。 （地域学校協働本部事業）	12月1日	27人	日本の伝統的な楽器について興味と理解を深めることができた。	
7	地域学校協働本部事業「高林アートギャラリー」（高林小）	地域の優れた芸術や美術を児童に鑑賞させ、豊かな情操を育んだ。 （地域学校協働本部事業）	12月15日～ 12月18日	159人	地域に愛着を持ち、地域を愛する心、郷土を誇りに思う心を育てることができた。	
8	地域学校協働本部事業「伝承文化の継承」（高林小）	高林獅子舞の練習や発表を通じて地域の伝統に学ぶ体験活動を学んだ。 （地域学校協働本部事業）	1月19日	47人	郷土芸能を学ぶことで、郷土愛を育むことができた。	
9	地域学校協働本部事業「青木フェスティバル」（青木小）	相撲大会を開催。青木コミュニティ主催の「青木周蔵感謝祭」も同時に学校で開催され、地域の方々が集う場となった。 （地域学校協働本部事業）	11月2日	192人	学校と地域コミュニティの協働で郷土愛を育むことができた。	

10	地域学校協働本部事業「車椅子体験教室」（青木小）	車椅子の体験を通じて足の不自由な方の生活を知った。 （地域学校協働本部事業）	10月29日	14人	相手を思いやる心を育てるとともに、たくましく生きる姿を学ぶことができた。	
11	高林地区自治公民館連絡協議会	各種事業に対する事業や事務等の支援、協力を行った。	通年	25人	公民館事業とタイアップすることで地域情報を知ることができた。	
12	青木地区コミュニティ推進協議会	各種事業の情報共有を図った。	通年		事業の情報共有により地域情報を知ることができた。	
13	高林地区福寿会連合会	各種事業に対する事業や事務等の支援、協力を行った。	通年	38人	公民館事業とのタイアップで多くの方に講座や事業に参加していただいた。 今年は、倍センまつりの味噌焼き餅の出店ができた。	
14	高林地区子ども会育成会連絡協議会	各種事業に対する事業や事務等の支援、協力を行った。	通年	19人 （158人）	育成会事業を開催するとともに公民館主催の少年教室と共催し実施した。	
15	高林地区ソフトボール愛好会	高林公民館と共催し、高林中学校を会場に分館対抗ソフトボール大会の練習と審判講習などの指導を行った。	6月 （5回）	15人 （90人）	スポーツを通じ親睦を深め地域の人同士のコミュニケーションを図ることができた。	
16	普通救命講習会及び消防訓練	高林地区女性防火クラブ主催の救急救命講習会開催時に公民館の消防訓練及び救急救命講習会を同時開催。地域の参加者と講習会を受講すると共に公民館の消防訓練を行い、消火器の使用方法を学ぶことで地域ぐるみで災害時に備えた情報共有を図れた。	1月27日	21人	地域ぐるみで災害時に備えた情報共有行なったことで、いざという時の地域ぐるみでの意識の向上につながった。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林小学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業として、児童と保護者を対象に行った。 夏休み親子ものづくり（シーグラスのサマーライト） （家庭教育支援事業）	8月2日	11人	ものづくりを通じて親子のコミュニケーションや保護者同士の交流をすることができた。	

2	青木小学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業 として、児童と保 護者を対象に行っ た。 ①夏休み親子もの づくり（シーグラ スのフォトフレー ム） ②親子で革細工づ くり（対象：6年 児童と保護者） ③地域キラリ!!応 援講座（チーズの 楽しみ方） ④閉講式（対象： 6年児童と保護 者） （家庭教育支援事 業）	4月～3月 （全4回）	140人	ものづくりや講座 等の実施により、 保護者の研修意識 が高く楽しみなが ら事業が実施でき た。 子育ての気づき の学習と保護者同 士の交流が図れ た。	
3	青木小学校 家庭教育学級	視察研修（保護 者）大田原市・那 珂川町方面 資生堂那須工場、 大田原消防署 ※青木小と高林小 の合同で実施 （家庭教育支援事 業）	10月24日	21人	参加者の意識が高 く、実のある視察 研修となった。美 に対する意識付け や、大田原消防署 での説明等は各家 庭での防災意識の 高揚に資すること ができるもので あった。	
4	高林中学校 家庭教育学級	家庭教育支援事業 として、チョコ レートについて講 座を行った。 （家庭教育支援事 業）	7月19日	12人	普段からなじみの 深いチョコレート について、その魅 力と奥深さを知り 、貴重な体験と なった。	
5	3校合同講演会 （子育て講演 会）	講話 テーマ 「睡眠で未来が変 わる。自分の睡眠 を見直そう」 講師：東洋羽毛北 関東株式会社 上級 睡眠健康指導士 星 野 氏 （家庭教育支援事 業）	10月2日	28人	日頃から適切な睡 眠をとることで、 発育や免疫力の向 上だけでなく、学 力や技能の向上に つながることを理 解した。	
6	サマーイベント	高林地区子ども会 育成会連絡協議会 主催で地区内小学 生を対象に行っ た。 カレーづくり、花 火夏祭りと2部構 成で行った。	8月23日	19人	高林小と青木小の 児童が一緒にカ レー作りし、中学 校へ向けて友達作 りと、花火を楽し むことで絆を深 め、楽しいイベン トとなった。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高林公民館まつり (倍センまつり)	利用サークルの作品展示及びステージ発表、模擬店、キッチンカー等出店を行った。 高林中学校生徒や、利用団体によるステージイベントや福寿会や育成会、地元蕎麦団体の蕎麦出店や地域の駄菓子屋の出店により、地域交流の促進が図れた。 作品展示期間を6日間設けた。	11月16日 展示期間 11月17日～ 22日	約500人	学校等の関係機関との連携することで、多数の来場者があった。また、飲食を提供する出店があったことで、まつりに長く留まる人数が増え、地域の世代間交流が促進された。アンケートでは高評価であった。1週間の展示により、まつり当日に参加できない方にも来場いただけることで、公民館を知っていただける機会となった。	
2	児童生徒書初展	子ども会育成会連絡協議会と共催で開催した。書初展 (対象：青木小・高林小児童と高林中学校生徒)	1月16日～2 月2日	118作品展示 来場者100人	地域住民の文化への理解と交流を深めることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。 ○冷暖房エアコン設置工事：フリースペース、調理室	通年		冷暖房エアコン設置工事により、フリースペースの利用が快適になり、好評であった。また、調理室についても同様であった。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館利用の利便性向上のため、オンライン予約システムを活用する。	通年		公民館のオンライン予約システムが徐々に浸透しており、利用者の手続きの省力がなされている。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (倍センだよりの発行)	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行した。	月1回発行	各戸配付 (自治公民館長経由) 1,148世帯及びHPに掲載	公民館事業や講座の実施募集や結果など地域に向けた情報の発信がタイムリーにできた。	

2	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK（見る・来る）高林公民館動画配信	「ギリシャ神話」にまつわるYouTube動画を4シリーズ19作品配信と配信動画の活用。	通年	4,153回（29,598回）	これまで配信しているYouTube動画を講座の導入で活用。動画の活用で地域自然の素晴らしさを深めることで配信回数増となった。	
3	高林公民館事業実施館内展示	高林公民館まつり（倍センまつり）の様子や各種公民館事業、たかはやし保育園児の作品展示、書初展の展示など、来館者に、公民館事業を知っていただく機会を提供している。	通年		講座の作品や、事業内容や写真をまとめた大判資料を展示することで、多くの方に公民館の魅力を伝えることができた。	

令和7(2025)年度 西那須野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	青少年ふれあい教室「わんぱく大学」	次世代を担う子どもと若者を対象に、交流体験活動を通して、人間関係の構築を図りながら、地域を元気にする人づくりを目指す。	6月～2月 (全9回)	20人 (153人) 大学生延べ 19人	児童の学年間の交流、小学生と大学生との異世代交流の体験活動を通して、相互の人間力を育み、地域活動の活性化が図れた。また、家族参加の講座実施により家庭間の交流も図ることができ、保護者の講座への理解も深められた。さらに、公民館利用団体の地域の方を講師とする講座により地域住民との交流に加え、公民館の役割を学んでもらうことができた。	
2	女性教室 「なでしこ学級」	地域社会活動を行う女性の資質向上を目指して、現代的課題に目を向けた学習内容にも積極的に取り組んでいく。	6月～1月 (全8回)	20人 (121人)	女性の地域活動の向上に繋げる教室として、お菓子作り教室やフラワーアレンジメント教室などを実施。大変有意義な学びの場となり好評であった。	
3	高齢者セミナー 「ときわ学級」	高齢者の社会参加を積極的に推進し、生きがいのある人生を送るため、体験活動や健康に関しての学習に意欲的に取り組んでいく。	6月～1月 (全8回)	21人 (125人)	みなさん毎回の講座を楽しみにしており、特に「おにぎらず」や「フラワーアレンジメント」「移動教室」の回が好評だった。来年も参加したいとの声も多く、充実した講座であった。	
4	ものづくり大学 「竹工芸」	地元の自然(竹)を身近な暮らしに取り入れることで、参加者が心豊かな充実した生活を送る一助とし、更に地元の良さを再認識してもらう。	8月～9月、2月～3月 (全6回)	40人 (8月～9月：受講生19人 3回実施 延べ参加者数 56人、2月～3月：受講生21人 3回実施 延べ参加者数 59人)	竹工芸でコーヒードリッパーを作成した。市内全域から竹工芸と食に関心のある方から多数の応募があったため、講師と相談の上2回目を実施。多くの方に学んでいただくことができた。	
5	ものづくり大学 「レザークラフト」	長年愛着を持って使える革製品を自作することで、自然素材の良さに改めて触れるとともに、環境にも配慮された素材であることを再認識してもらう。	11月～12月 (全5回)	16人 (67人)	バッグや小物など自分の好きなものを作成した。親子で参加する方もおり、幅広い世代に受講していただけた。また、自主グループとして活動を続ける方もおり、充実した講座となった。	

6	スキルアップ講座 「歳時記の旬の素材を使った料理教室」	ものづくり大学受講者の要望により、竹工芸を使った料理教室を実施する。更に竹工芸への理解を深め、生活に取り入れる手法の習得を目的とする。	11月～1月 (全4回)	26人 (97人)	歳時記の旬の素材を使った料理教室を実施。応募者多数のため講師と相談の上2部制で実施。食材の説明から竹工芸を使った調理実習まで行い参加者は満足していた。	
7	世界のごはん 料理教室	外国人の方を講師に招き、様々な国の家庭料理を学びながら異文化交流を図る。また、働く世代や普段あまり料理をしない方が参加しやすいようにし、趣味づくりやスキル習得のきっかけとした。	12月～2月 (全4回)	15人 (56人)	外国人の講師とコミュニケーションを取りながら家庭料理を作ることによって異文化交流が図られた。また、講師と連絡交換する受講生や、個人的に交流を続ける方たちもあり、国際交流のきっかけともなった。	市民大学連携講座

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	健康教室「ハイキング」	自然や動植物に触れ、心身の健康づくりや、親睦・交流を図る。	5月28日	22人	草木ダム周辺を散策。天気も良く程よい距離を歩き、美術館や神戸駅を見学し参加者相互の親睦を深め、心身ともにリフレッシュするとともに、環境の大切さを改めて感じることができた。	
2	西那須野地区コミ親善グラウンドゴルフ大会	中央地区コミュニティ協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	中止			
3	中央地区グラウンドゴルフ大会	中央地区コミュニティ高齢者部会・体育部会協力で地域住民がスポーツを通して健康づくりと親睦交流を図る。	7月5日	25人	ケガや体調不良になる方もなく、日頃の練習の成果を発揮していた。毎年楽しみに参加されている方も多く、盛会のうちに終了した。	
4	中央地区輪投げ大会	中央地区コミュニティ高齢者部会協力で地域の高齢者がスポーツを通して健康づくりと親睦、交流を図る。	12月6日	23人	自治会チーム対抗で得点を競うことで、地域内外の交流が図られ、大変盛り上がった。	
5	中央地区親善ボウリング大会	中央地区コミュニティ体育部会協力で地域住民の親睦と健康増進のため、ボウリング大会を実施する。	2月14日	30人	毎回楽しみにしている方や久しぶりの参加に気合の入る方など、皆それぞれに楽しみ、声援ありハイタッチありの盛り上がりを見せていた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	女性教室 「なでしこ学級」	施策1-2再掲				
2	健康講座「やさしい片づけ講座」	片づけを通して心も体もすっきりし、心身ともに健康となることを目的とする。	12月～1月 (全3回)	19人 (46人)	思考整理術から安全を考えた実際の整理術まで学ぶことができ、受講後参加者からは前向きな気持ちで片づけを行う意欲が感じられた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	地域ふれあい教室 「やんちゃくらぶ」	講師に地域ボランティアや中学生の協力を得て、東小1年生から6年生を対象に、夏期休業期間中に課題対策や体験活動を通して、夏休みの思い出作りを目的とする。 (地域学校協働本部事業)	7月23日 8月6日 (全2回)	40人 中学生ボラ 14人・地域ボラ12人	夏休みに、西中生徒及び地域ボランティアと書道や水彩画教室、新聞づくり教室など、様々な交流学習を体験することができた。	
2	青少年ふれあい教室「わんぱく大学」	施策1-1再掲				
3	郷土芸能伝承事業 (東小児童)	「太夫塚八木節笠踊り」の伝承を目的に、保存会の指導のもと郷土芸能への理解を深め、イベント等で学習成果を発表する。	7月～12月 (全19回)	20人 (306人)	地元育成会と保存会の会員の協力、指導により郷土芸能の伝承が引き継がれている。	
4	街の音楽会	様々なジャンルの音楽を生演奏してもらい、皆で鑑賞する。地元西那須野中学校合唱部及び市内ブラスバンドの出演など中央地区コミュニティ文化部会の協力により実施する。 (地域学校協働本部事業)	12月14日	151人 (出演者及び来場者)	生の歌、生の演奏に触れて、素敵なひと時を過ごすことができた。聞きなじみのある曲や軽快な曲も多く、来場者は楽しむとともに元気ももらっていた。また、世代を越えた地域住民の交流も図れた。	
5	むかしの遊びに挑戦しよう (東小児童・地区内高齢者)	生活科の授業に地域の高齢者から伝承遊びを学び、遊びを通して異世代間の交流を図り、中央地区コミュニティ協力で実施する。 (地域学校協働本部事業)	11月18日	1年生71人 地域協力5人	地域の方に参加いただき、様々な昔の遊びを体験することができた。	

6	西那須野中学校 「防災学習」 (西那須野中生 徒・地区内住民)	西那須野中学校生徒が災害時自ら考え主体的に行動できるようにするための講話や訓練体験を学習する事業を、中央地区コミュニティなどの地域住民が積極的に支援し、ともに学習しながら世代を越えた地域の輪を広げていくことを目指す。 (地域学校協働本部事業)	11月18日	参加生徒740人 地域協力50人	3年生は避難所ブース体験や避難所運営ゲームの実施、2年生は心肺蘇生や自作担架による救助体験、土嚢作りなど、1年生は災害時の情報収集や煙体験、非常食試食などを地域の方と取組めた。	
---	--	--	--------	---------------------	--	--

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	東小学校 家庭教育支援事業	各種の学習会を通じ、仲間づくりを目指す。子育てについての問題に気づき、情報交換をしながら成長していくことで、親としての資質を向上させる。 (家庭教育支援事業)	7月27日	26人	親子移動教室を実施。ユメノバでの様々な展示物の見学及び体験を通して、親子での学びと交流が図られた。	
2	西那須野中学校 家庭教育支援事業	保護者を対象に実施し、思春期の子どもの育て方を学び、また保護者同志子育ての話を共有する機会を持つ。 (家庭教育支援事業)	10月2日	7人	カルビー工場、洞窟酒造の見学等による保護者の交流の場を提供。子育てに関する情報共有を図ることができた。	
3	わくわく子育てネット	乳幼児を持つ保護者を対象に様々な活動や体験を通じ、さらに地域社会との関わりを持ちながら子育てについて学び、保護者間のネットワークを図る。 (家庭教育支援事業)	4月～3月 (全19回)	大人173人 子供188人	子育てに関する情報共有を図りながら、同じ悩みや不安を持つ仲間を得る機会となっている。リトミック学習と夏祭り、音楽会が特に好評。	
4	ミニ門松づくり	東小学校児童・保護者対象に、竹を使ってお正月飾りのミニ門松を制作し、お正月飾りの意味についても学んだ。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業に取り組んだ。 (家庭教育支援事業)	12月13日	34人	親子で日本の風習を学び、共に創作活動を行うことで親子の絆はもとより、家族間のコミュニケーションも図られ、大変有意義な教室となった。	

5	親子ものづくり教室	東小学校児童・保護者対象に、夏休みに親子で学ぶ機会を提供する。中央地区コミュニティ青少年部会の協力で親子での協同作業を実施する。 (家庭教育支援事業)	7月5日	42人	東小学校児童・保護者対象に、陶芸教室を行った。中央地区コミュニティ青少年部会の協力を得て、親子で湯呑と葉っぱの形のお皿を造形し釉薬を塗り制作した。	
---	-----------	--	------	-----	---	--

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西那須野公民館、中央地区コミュニティまつり	公民館事業や公民館を利用するサークルの学習成果の発表と、中央地区コミュニティが出店する模擬店などを通し、地域住民の交流の場を設け、地域連帯感を醸成する。	11月2日	来場者 1,200人	学習成果の発表には、準備の段階からサークル同士で協力し絆を深めながら、昨年度の問題点の改善などに積極的に動いていた。発表当日はコミュニティのイベントや模擬店の出店との相互作用により多くの来場者があり、地域とサークルとの連帯感を高めることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	今年度は、空調機やブラインドの修繕等を実施し環境が改善した。来年度は建具の修繕と雨漏りの調査を実施する。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の利用促進。	通年	—	オンライン予約システムは利用者に浸透し、好評を得ている。シェアスペースについては、地域・利用者に広く活用されている。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行「公民館口ビー」	公民館が実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	随時発行	4月～3月 (全5回)	概ね地区内住民に公民館・コミュニティ情報を周知、そしてPRすることができた。	

令和7(2025)年度 狩野公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室 「ひばりのこ」	ものづくりをはじめ、学校とは違う各種体験活動をとおして仲間づくりや生きる力を育む。	6月～2月 (全9回)	17人 (87人)	運動や調理実習、ものづくり、学習など、幅広い内容を体験しながら、学年の垣根をこえて仲間づくりができた。保護者や兄弟の協力があり、工夫や発見など、一人ひとりが成長できた。	
2	シニア倶楽部 「しののめ」	講話、創作活動、レクリエーション活動等をとおして、高齢者の生きがい、仲間づくりを図る。	5月～1月 (全9回)	23人 (144人)	身体を動かす内容、ものづくり、座学など、幅広い内容を行うことができた。 少年教室との合同事業や移動教室では、受講生同志で声を掛け合いながら積極的に活動することができた。	
3	夏休み宿題お手伝い講座「習字」	夏休みの課題を製作する習字教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施。	7月29日	7人	下野教育書道展の課題に取り組んだ。講師が一人ひとりを丁寧に指導してくださり、集中して課題を仕上げることができた。	
4	夏休み宿題お手伝い講座「親子ものづくり」	夏休みの課題を製作するものづくり講座として開催。学習の場の提供と長期休業期間の親子での関わりや共同作業を目的として実施。	8月10日	児童11人、保護者11人	親子で木の本棚を製作した。大工さんたちの指導により、くぎを打ち本格的な木工教室を行うことができた。	
5	はじめての沖縄三線教室	沖縄の伝統的な楽器である三線の弾き方を学習し、音楽を楽しみながら参加者同士の交流を図る。	6月～8月 (全5回)	10人 (37人)	缶で作るカンカラ三線の組み立てを行い、三線の仕組みや弦の張り方を学ぶことができた。沖縄の言葉や琉球音階について講義があり知識を深めることができた。最終日には個人やグループで演奏を披露し、受講者は緊張しながらも演奏を楽しんでいた。	市民大学連携講座

6	お正月の寄せ植えづくり	季節の草花で寄せ植えを作り、お正月を迎える準備をする。	12月20日	10人	寄せ植えのコツや育て方を学び、自分のペースで寄せ植えを楽しんだ。松竹梅など季節の草花を使い、お正月らしい寄せ植えができた。	
7	冬休み書き初め教室	冬休みの書初め教室として開催。学習の場の提供と長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施。	12月26日	7人	下野教育書道展の課題に取り組んだ。子どもたちは一筆一筆丁寧に筆を運び、熱心に課題に取り組んでいた。	
8	キッチン狩野	調理実習をとおして多様な食文化を学び、健康・生きがい、受講生同士の交流地域活性化を図る。	2月21日	12人	地区内の元中華料理店主を講師に招き酢豚とカニ玉づくりを実施。家庭でつくれる本格的な調理法を学び、参加者も出来栄に満足していた。	
9	大人の教養講座	様々な知識や体験を増やすことで、生涯にわたる趣味や生きがいづくりを促進するとともに、受講生同士の交流による地域活性化を図る。	中止		講師との調整不足により中止	
10	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体活動を支援する。	通年		利用料金徴収の案内をはじめ、必要な情報提供を行った。また、公民館まつりの開催により発表の場を提供できた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能伝承講座 「遅沢ばやし教室」	遅沢ばやしの練習と各種イベント参加の活動をとおして、郷土愛を育み地域伝承文化の継承に繋げる。	5月～2月 (全12回)	14人 (117人)	今年度は西那須野ふれあいまつり、盆踊り、運動会、郷土芸能発表会、西那須野初市に出演させていただき発表することができた。今後も保存会の支援を含め、継続していきたい。	
2	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月15日		荒天により中止	

3	狩野地区大運動会	スポーツをとおし地域住民の健康・親睦を深め、心豊かな地域づくりを図る。	10月5日	400人	子どもから大人まで一同夢中になって競技に参加し、会場はたくさんの声援と笑顔で溢れ、世代を越えた地域住民の交流ができた。	
4	ふれあいハイキング	身近な自然や動植物にふれ、心身の健康づくりや、親睦・交流を図る。	11月14日	9人	塩原近郊の滝を巡ってきた。地元ガイドをやっている方に案内してもらい、身近にある自然の再発見と参加者同士の親睦を深めることができた。	
5	郷土芸能の育成支援	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。	通年		盆踊り、運動会、学校のイベント等の情報を共有して、発表の場を提供することができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	くらしに役立つスマホ講座	スマホの便利な使い方を学び、スマホ活用のスキルアップを目指す。	9月 (全3回)	5人 (15人)	LINEの安全な設定や、写真・動画の撮り方、地図での位置情報の利用方法やInstagram、QRコード決済などを学んだ。参加者は学んだ機能を楽しそうに試行していた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	はじめての沖縄三線教室	施策1-No.5再掲				
2	図書館ボランティアによる読み聞かせ	図書ボランティアを活用し、図書室の整理や読み聞かせを通して、本に親しむ子供の育成を図る。 (地域学校協働本部事業)	5月～2月 (全10回)	289人	図書ボランティア(8名)による読み聞かせを年間10回、朝の活動時に行った。定期的に児童の読み聞かせを行うことにより、児童は、読書に関する関心をもち、豊かな心を育むことができた。	

3	花いっぱい運動	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化とこどもの情操を育む。 (地域学校協働本部事業)	6月4日 11月19日 (全2回、中止1回)	230人 (三島中学校区)	中学生が各出身小学校に出向き、小学生の作業のサポートを行いながら協働でプランターに花を植えることができ、小中一貫教育の成果を上げることができた。公民館、地域の方たちと共に活動する良い機会となった。	
4	さわやかサミット	三島中学校区をより住みやすい地域にしたりするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施。 (地域学校協働本部事業)	6月18日 1月28日	85人 (三島中学校区)	3つの小学校の代表者が中学校で、地域のためにできることや、児童生徒が地域活動に参画するためにはどうすればよいかというテーマについて活発な意見交換ができた。	
5	地域学校保健委員会	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 (地域学校協働本部事業)	12月18日	70人 (三島中学校区)	「睡眠とメディアの関係を知ろう」をテーマに会議を実施した。東洋羽毛の方の専門的な話を聞くことができた。地域全体で健康の保持増進を進めていく重要性を確認できた。	
6	高齢者との交流会	地元の高齢者と昔の遊びを通して、郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月30日	63人	地域の高齢者の方々を学校にお招きし、1年生に昔遊びを教えてもらうことを通して、高齢者との交流を行った。高齢者の経験の豊富さ、知識の深さに触れることができた。世代の違う人たちと触れ合うことができ、子供たちにとって貴重な体験をすることができた。	
7	地域の伝統行事に関する講話	地域の伝統行事について地域の方の話聞くことにより、郷土を愛する心を養う。 (地域学校協働本部事業)	12月19日	48人	3年生の総合的な学習の時間の校外学習として、狩野公民館において地域の歴史や産業・文化について地域の方から話を伺った。地域への理解を深め、郷土愛を育むことができた。	

8	郷土芸能保存団体との交流会	郷土芸能保存団体との交流活動をと おして地域郷土芸能に対する関心を 高め郷土愛を育む。 (地域学校協働本部事業)	1月13日	60人	3年生の総合的な 学習の時間に、つ きの木もちつき唄 保存会によるもち つき唄を鑑賞し、 もちつき体験を 行った。もちつき の歴史を学び、実 際にもちつきを体 験することで、自 分たちの住む地域 の郷土芸能を知 り、理解を深める ことができた。	
9	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会	施策2-No.2再掲				
10	狩野地区盆踊り大 会	地域伝統文化の盆 踊り大会を開催し て地域住民の親 睦・連帯感を深め る。	8月16日	680人	盆踊りに先行して 夏休みお楽しみイ ベントが開催さ れ、多くの親子連 れが来場した。小 中学生によるよさ こいや遅沢ばやし 教室の子どもたち による演奏を披露 したのち盆踊りが 始まり、途中雨に 見舞われたが、抽 選会まで会場は大 いに盛り上がり、 真夏の風物詩を楽 しむことができ た。	
11	狩野地区大運動会	施策2-No.3再掲				
12	公民館・狩野地区 コミュニティまつ り	公民館講座、教 室、利用団体の作 品展示、学習成果 の発表とコミュニ ティの催し物を開 催し、地域住民の 交流を図る。	10月26日	700人	2年ぶりの開催。 メインの展示場や スポーツチャンバ ラ体験を多目的 ホールに変更して 実施。雨の中での 開催になったが、 展示会場の他、ス テージ発表やコ ミュニティで実施 した模擬店にも多 くの人が集まり、 地域住民の交流を 図ることができ た。	
13	狩野地区コミュニ ティどんどん焼き	狩野地区の伝統行 事を開催して、後 世に伝え、心豊か な地域づくりを図 る。	1月10日	500人	晴天の下、準備し たトリ小屋に子ど も達が点火しお焚 き上げを行った。 恒例のガラまきや キッチンカーの出 店もあり、多くの 地域住民が来場し た。	
14	地域学校協働本部	情報交換会等を行 い、学校と地域の 連携、事業展開を 推進する。	通年	—	情報交換会等を通 じて、地域と学校 との間で情報共有 と相互理解に努め た。	

15	コミュニティ活動の育成支援	狩野地区コミュニティ推進協議会と連携して、自主活動を支援し育成を図る。	通年	—	まつりは2年ぶりに、その他は例年同様に事業が実施できた。時代の変化に伴い、活動を活性化させるための新しい工夫が求められている。	
16	自治公民館活動の支援	備品の貸し出しや情報提供を行い、地区活動を支援する。	通年	—	自治会行事への備品の貸出や会議のための貸館等、自治会の自主活動を支援できた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	槻沢小学校家庭教育学級「つきのき」	保護者としての学びの場を提供し、保護者同士の交流を図りながら、家庭での保護者のあり方、子育て等を学ぶ。 (家庭教育支援事業)	7月～1月 (全6回)	130人	保護者同士の交流を通して、子育てに関する情報交換の場を提供することができた。また、親子活動により親子のコミュニケーションを深めることができた。	
2	夏休み親子工場見学	製品ができる工程や、そこで働く人たちの様子を親子で見学する。学びを共有することで親子の会話を増やし、また、将来の職業選択を考える機会とする。	8月22日	18人	県立博物館とエバラ食品工場を見学してきた。博物館では日光地方の動植物の展示を解説を聞きながら見学した。また、エバラ食品工場では、「焼き肉のタレ」や「鍋の素」ができる工程を見学し、材料や容器について知ることができた。親子で話し共に学ぶことができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・狩野地区コミュニティまつり	施策4-No.12再掲				

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年		フリースペースにエアコンを設置し、フリースペースが夏や冬でも快適に利用できるよう環境を整えた。またグラウンド奥に設置されていた古い遊具を撤去し駐車場等に利用できるよう整備した。	

2	スマート公民館に向けた取組	公民館利用の利便性向上のため、オンライン予約システムを活用する。	通年		全15公民館にオンライン予約システムのスムーズな運用、地域住民の居場所づくりとしてもスペースとして活用できた。	
3	公民館・狩野地区コミュニティまつり	施策4-No.12再掲				

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニティだよりの発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行		月1回発行し、公民館とコミュニティの事業の参加者募集や活動報告を周知することができた。	

令和7(2025)年度 南公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのこ」 (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～1月 (全9回)	10人 (69人)	参加可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	
2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 (地区内高齢者)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～1月 (全9回)	52人 (323人)	高齢者が参加可能なプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流を図ることができた。	
3	南地区輪投げ大会 (地区内住民)	輪投げを通して、地区内高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的として実施。	11月16日	14人	参加者同士の交流と健康増進を図ることができ、高齢者に対して貴重な運動の機会を提供することができた。	
4	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	西那須野地区6コミュニティの合同事業として、高齢者の健康増進と参加者相互の交流を目的に実施。	6月15日	中止	天候不順のため中止	
5	南小陶芸教室 (南小5年児童)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	7月 (全2回)	児童52人 教員4人 講師8人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学「陶芸教室」 (市民)	陶芸の初歩的技術を学び、教養を深めるとともに、継続した自主活動を促すことを目的に実施。	8月～9月 (全4回)	9人 (34人)	技法を教わりながらそれぞれ創作していくので、工夫の結果が花瓶や皿に現れた。また、出来上がった作品を互いに鑑賞しあい、色の出し方や模様のつけ方など意見交換し交流を深めていた。そのため参加者からはとても好評だった。	

2	自主グループ育成講座 「アートクロスフラワー教室」 (市民)	アートクロスフラワーの初歩技術を学び、生涯学習への興味喚起と仲間づくりを支援するとともに、自主グループの結成を目指して公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	8月～9月 (全3回)	7人 (20人)	白い布をそれぞれの好みの色に染めて、世界に一つだけの野ばらや小花をつくり、ブーケやリースを作成した。 開催期間は短かったが参加者同士の交流促進も図ることができた。	
3	公民館教養講座 (市民) 「草木染め教室」	身近な材料（藍・赤紫蘇・マリーゴールド・桜の枝）を使った初心者向けの草木染めを通し、日々の暮らしに彩りを与え、心豊かに生活することを目的に実施。	8月31日 9月14日 10月12日 2月28日	47人	毎回異なる材料を使い、その都度受講者を募集することで、興味のある回に参加してもらうことが出来た。回を重ねるごとに受講者が増え、楽しみながら染色に取り組むことが出来た。	
4	もの作り教室（地区住民） 「水引工芸」 「寄せ植え」 「みそ作り」	趣味の世界を広げることで、生涯学習のきっかけづくりや公民館の利用拡大と活性化を図ることを目的に実施。	12月7日 12月10日 2月19日	9人 32人 23人	管内の市民が集い、花の特性を学び寄せ植えをしたり、伝統的な工芸などを学びながら楽しく作品制作に取り組むことが出来た。	
5	ハイキング (地区住民)	ハイキングを通して身近な自然に触れることで心身の健康増進を図るとともに、世代を越えた参加者相互の交流と親睦を深めることを目的に実施。	5月31日	中止	天候不順のため中止	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「つばめのご」 (再掲) (南小児童)	遊びやもの作りなど、子ども同士の活動を通して、自主性・協調性・創造性を養うことを目的に各種講座を実施。	6月～1月 (全9回)	10人 (69人)	参加可能な範囲でプログラムを立案し実施することで、様々な経験を通して学年を越えた仲間づくりもでき、受講生の成長を図ることができた。	
2	高齢者セミナー 「すずらん学級」 (再掲) (地区内高齢者)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、交流促進を図ることを目的に、講話や軽運動など各種講座を実施。	6月～1月 (9回)	52人 (323人)	高齢者が参加可能なプログラムを立案し実施することで、高齢者の生きがいづくりや交流を図ることができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第40回南地区コミュニティ・南公民館まつり (地区内住民 公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。	10月5日	600人	自主サークルの作品展示や発表、コミュニティ各部、南小学校PTA、スポーツ少年団や児童クラブ等による模擬店、各種催し物を行ったことにより多数の来場者があり、地域住民との交流や、生涯学習の一層の充実を図ることができた。	
2	南地区花いっぱい運動 (地区内住民)	南公民館の敷地に季節の花を植えることで、地域の美化と地域相互の連携と親睦を深めることを目的に実施。	6月7日 10月25日	54人	季節の花を植えることで公民館や地域の景観を向上することができた。また、地域住民が植込み作業に携わることで、地域の交流と活性化を図ることができた。	
3	地域史跡保存活動 (地区内住民)	田園空間博物館サテライトの一つである親王台の管理(清掃活動)を通して、自然に触れ、開拓の歴史を学ぶとともに、貴重な史跡を適正に保存することを目的として実施。	6月29日	15人	親王台の下草刈り、枝おろし、ゴミ拾いを実施し、参加者同士の交流を図ることができた。また、身近な開拓の史跡に触れながら、歴史を学ぶことができた。	
4	ウエスカット作業 (地区内住民)	地域内から寄贈された布を、高齢者施設等で活用できる大きさにカットしてウエスを作成する作業を通じて社会貢献を行うとともに、地域住民の協力体制と親睦を深めることを目的に実施。	2月15日	16人	作業を通じて、参加者同士の交流と地域福祉の意識高揚を図ることができた。また、作成したウエスは社会福祉協議会を通じて高齢者施設等に寄贈し、地域内福祉活動の充実を図ることができた。	
5	ミニ門松作り教室 (地区内住民)	正月飾りの一つである「門松」のミニチュア版の作成を通して日本の伝統文化を学ぶとともに、地域住民の親睦と交流を深めることを目的として実施。	12月14日	14人	ミニチュア門松を手作りし、日本の伝統と材料の意味などを学ぶことができた。また、参加者同士が協力し合う過程で、交流を深めることができた。	
6	陶芸教室(南小5年児童) (再掲)	南公民館の特徴である陶芸窯を活用し、陶器づくりの体験を通してものづくりの楽しさと奥深い陶芸の歴史などを学ぶことを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	7月 (全2回)	児童52人 教員4人 講師8人	児童全員が初めての体験であったが、講師の指導をよく聞きながら真剣に取り組み、各自がデザインした個性ある作品を作り上げることができた。	

7	特別支援学級自立活動 「創作活動」 (南小児童)	身のまわりにある物を活用して作る楽しさを味わうことで児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	11月5日	児童25人 講師1人	様々な紙を組み合わせてキーホルダーを作成することで、児童の自立を促すことができた。また、道具の使い方などを習得し、楽しく作品づくりをすることができた。	
8	「絵手紙教室」 (南小3年児童)	地域住民の指導による絵手紙体験活動を通して、手紙文化への関心を深め、児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	9月30日	児童33人 保護者34人 講師2人	絵手紙の作成を通して気持ちを手紙で伝えることの必要性を学ぶとともに、手紙文化への関心を高めることができた。	
9	「卒業式に向けて～コサージュを作ろう」 (南小6年児童)	地域住民の指導のもと、コサージュの手作りを行いながら卒業に向けての児童の意欲と希望の気持ちを喚起することを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	11月5日	児童48人 保護者48人 講師3人	卒業式で自分の胸に着けるコサージュを手作りすることで、卒業に向けた児童の意識高揚を図ることができた。また、製作活動を通してこれまで自分を支えてくれた地域住民や保護者への感謝の気持ちを喚起し、将来への希望を深めることができた。	
10	「木製ポストカード作り」 (南小4年児童)	2分の1成人式で保護者にプレゼントするポストカード製作を通して、木の実など身近なものを利用したものづくりの楽しさを学ぶとともに、保護者への感謝と将来への希望を喚起することを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	12月1日	児童57人 講師2人	2分の1成人式で保護者に感謝の気持ちを伝えるポストカードを製作し家族への思いを深めることができた。また、地域住民の指導・交流を深めつつ楽しく活動することができた。	
11	「昔遊び」 (南小1年児童)	地域のスクールボランティアによる昔遊びの体験を通して、こま回し、あやとりなど、昔の遊び文化への関心を深め児童の自立を促すとともに、地域住民との交流を図ることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	1月16日	児童29人 スクールボランティア15人	昔遊びを通して昔の遊び文化への関心を高めることができた。また、地域のスクールボランティアの指導のもと、地域住民との交流を図ることもできた。	

12	ジュニアリーダー講習会 (南小5・6年児童)	南小5・6年児童を対象に、講話やレクリエーションを通じて小学校最上級生となる自覚を促し、下級生のリーダーとして活躍できる人材を育成することを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	10月18日	中止	応募者少数のため中止	
13	宿題お助け隊 (南小児童・西那須野中学生・地区内住民)	南小児童を対象に、地域住民と西那須野中学校生徒が協力して夏休み・冬休みの宿題の支援をすることを通して、児童生徒の地域活動への参加促進と住民間の連携、交流を深めることを目的に実施。 (地域学校協働本部事業)	8月6日 12月26日	児童33人 生徒ボランティア30人 講師4人	小学生の長期休業中の宿題(書道、ドリル、工作など)の仕上げの支援を地域住民と中学生が協力して行うことで、中学生のボランティア意識の醸成、小学生の目標設定に寄与することができ、地域内住民同士の交流を深めることで、児童生徒の健全育成の機運を高めることができた。	
14	コミュニティ活動の育成支援 (南地区コミュニティ推進協議会)	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援し、育成を図ることで、住みよい地域づくりに寄与することを目的に実施。	通年		地域活動のあり方を共に考えながら、地域の活力の低下を防ぐため連携した取組を推進することができた。	
15	自主グループの育成支援 (南公民館定例利用団体)	公民館定例利用団体への情報提供等により活動を支援したほか、公民館まつりに学習成果の発表の場を提供することで、各団体の活動の充実を図ることを目的に実施。	通年		定例利用団体へ情報提供などの支援により、可能な範囲で活動ができたが、新たな自主グループの設立には至らなかった。	
16	自治公民館活動の支援 (地区内自治公民館)	自治公民館活動の活性化のために、相互の情報交換を行うことで、地区活動を支援することを目的に実施。	通年		自治公民館との相互の情報交換を行うことができた。	
17	地域学校協働本部事業 (地区内住民・南小児童・西那須野中学生)	通年	通年		南小学校児童の登下校時の見守り活動を中心としたスクールボランティア活動を通して、学校と地域との協働体制を確保することができた。また、南小学校児童を対象とした夏休みと冬休みに「宿題お助け隊」事業を行い、地域住民や中学生との連携・交流を深めることができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	南小家庭教育支援事業 (南小保護者・児童)	親子体験活動、ワークショップを通して、保護者同士の交流を図りながら学習機会を設けることで、家庭教育力の向上による児童の健全育成を図る。 (家庭教育支援事業)	8月～1月 (全9回)	(86人)	保護者にアンケートをとり、それを基にプログラムを組み立てた。本年度は数回公民館事業との共催で行い親子での作業に取り組むとともに受講者同士の交流を図ることができた。	
2	ミニ門松作り教室	施策4-No.5再掲				

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第40回南地区コミュニティ・南公民館まつり（再掲） (地区内住民 公民館利用者)	自主活動グループの作品展示、活動紹介及び各種イベントを行い、地域住民との交流やコミュニティとの協働を図るとともに、児童生徒の参加促進をすることで、地域をあげて子どもたちの健全育成の気運を醸成する。	10月5日	600人	自主サークルの作品展示や発表、コミュニティ各部、南小学校PTA、スポーツ少年団や児童クラブ等による模擬店、各種催し物を行ったことにより多数の来場者があり、地域住民との交流や、生涯学習の一層の充実を図ることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館整備事業 (公民館利用者)	南公民館外壁及び屋根塗装改修工事、防球ネット修繕工事など	通年		外壁及び屋根塗装改修工事や、防球ネットの修繕工事を行うことで、公民館利用者の利便性の向上を図ることができた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館と南地区コミュニティと共同で広報紙を定期的に発行することにより、公民館及びコミュニティ主催事業等の紹介や、地域住民に対する啓発などを行い、情報共有を図りながら地域の連帯感向上に寄与することを目的に実施。	月1回発行	4月～3月 (12回)	月1回の定期発行により、公民館やコミュニティの各事業の案内、など各種情報をタイムリーに地区住民にお知らせすることができた。	

令和7(2025)年度 西公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	学校外活動事業 少年教室「チャレンジ☆キッズ」 (地区内児童)	モノづくりや体験学習などの様々な活動をとおして、仲間づくりや子どもの好奇心、創造を育成することを目的とする。	5月～2月 (全10回、中止1回)	18人 (105人)	モノづくりやこの地域ならではのいちご狩り、野鳥観察などができ、子どもたちには地域の新たな発見となり、楽しく活動することができた。	
2	高齢者セミナー 「さわやか学級」 (地区内高齢者)	講話や創作活動、健康運動をとおして、高齢者の生きがいづくり、仲間づくりを図ることを目的とする。	5月～2月 (全10回)	71人 (276人)	手先を使うモノづくりから身体を動かす健康体操、移動教室など楽しく活動しながら参加者同士の交流を図ることができた。	
3	利用団体の育成支援	情報提供を行い、各団体活動を支援する。	通年	—	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通し円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所の確保や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土芸能継承講座 「子ども疏水太鼓」 (地区内小学生4～6年生)	西小学校4～6年生を対象に、那須野ヶ原疏水太鼓保存会の指導の下、子ども疏水太鼓の技術の習得と発表など伝承活動を行った。	4月～3月 (全49回)	17人 (578人)	練習や公民館まつり等での発表をとおして、郷土芸能への理解が深まり地域活動への参加を図ることができた。	
2	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	スポーツを通して、高齢者の健康づくりとコミュニティ相互の交流、親睦を深めることを目的として実施する。	6月15日 (中止)	—	今年度は前日から雨でグラウンドの状態も悪く、悪天候のため中止となった。	
3	ハイキング教室 (地区内住民)	自然に触れながら心身の健康づくりや地域住民相互の親睦や交流を図ることを目的とする。 5月は那須平成の森散策、11月は蔵の街とちぎのまち歩きを実施した。	5月23日 11月28日	13人 17人	5月は普段立ち入ることができない平成の森のエリアをインタープリターに解説してもらいながら散策できた。11月は蔵の街で有名な栃木市の巴波川周辺を案内ガイドに説明してもらいながら散策をした。自然環境や地域文化への理解及び健康増進と地域住民の交流を図ることができた。	

4	【新規】クラフトバンド教室	今人気のP Pバンドを利用し、日常的に使えるおしゃれなかごバックを制作し、作品づくりを楽しみながら参加者同士の交流を図る。	7月8日 7月15日 7月22日 7月29日	24人 (91人)	人気が高い講座で出席率も高く、参加者は夢中で楽しくかごバックを制作することができ、継続して作品を制作したいと希望があり、一部参加者で自主グループを立ち上げるほど盛況であった。	
5	【新規】竹工芸教室 (市民)	地元で活躍する竹工芸家を招いて、那須地方で盛んな竹工芸について技法や知識を学ぶ。	9月5日 9月12日 9月26日	15人 (45人)	竹工芸の技術、編み方など難しい技法を教わりながら、本格的な竹工芸作品を制作し完成させることができた。高度の技術のため参加者はかなり苦労していたが、お互いに協力、教え合いながら楽しく竹工芸の知識を学ぶことができた。	市民大学連携講座
6	ワイン講座 (市民)	地元で活躍するワイン醸造家の山崎賢子氏を招き、生産から醸造まで体験しながらワインについて学ぶ。	8月31日 9月14日 11月22日	21人 (50人)	講義や収穫体験とおして、ワインについてのぶどうの種類、栽培、生産方法など直接ワイン醸造家から学ぶことができた。座学だけでなくぶどうの収穫や試飲など、ほかにはできない貴重な体験ができ、受講者は楽しく学ぶことができた。	市民大学連携講座
7	西地区コミュニティ親善スポーツ交流会 (地区内住民)	コミュニティの体育レクリエーション部会が中心となって地区対抗輪投げ、グラウンドゴルフを実施する。	9月28日	90人	参加者は大いに盛り上がり地域を超えた交流が図られ和気あいあい楽しく参加できた。	
8	味噌づくり教室 (地区内住民)	普段口にする味噌を手づくりすることで、食生活への興味、関心を持つことを目的とし実施する。	1月31日	17人	味噌づくりをしながら、発酵食品の知識や味噌の種類や材料、料理について専門家から学ぶことができた。	
9	郷土芸能の育成支援	郷土芸能伝承のため、各団体の活動を支援する。	通年	—	子ども疏水太鼓、那須野ヶ原疏水太鼓保存会及び那須拓陽高校太鼓部へ支援することができた。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	なすしおばら生涯学習チャンネルMILK (見る・来る)	エール那須塩原家学(うちがく)プロジェクトの一環として、公民館地域・事業等の紹介をインターネット (YouTube) で配信	通年	—	市民大学連携講座「ワイン講座」の動画を配信した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】竹工芸教室 (市民)	施策2-No.5再掲				
2	ワイン講座 (市民)	施策2-No.6再掲				
3	花いっぱい運動(三島中学校区・地区内住民)	公民館敷地内にプランターを設置し、春と秋の2回に分けて花を植え替え、地域環境の美化と子どもの情操を育む。 (地域学校協働本部事業)	6月4日 11月19日	460人 児童・生徒 400人 大人 60人 (三島中学校区)	中学生が出身小学校に出向いて、小学生と一緒に花の苗を植え、地域の緑化活動に貢献した。	
4	フラワーロード整備事業 (地区内小学生・地区内保育園生・地区内高齢者)	地域の高齢者が西保育園児とともに小学校・西公民館の南面歩道にマリーゴールドを植え付け、地域の環境美化を図った。 (地域協働学校本部事業)	6月4日 11月19日	483人 園児 36人 児童285人 生徒 80人 大人 82人	地域の高齢者と、西小児童及び保育園児と一緒にフラワーロードを整備することで世代間の交流を図ることができた。	
5	さわやかサミット (三島中学校区・地区内住民)	三島中学校区をより住みやすい地域にするための課題や改善点を、小学校の児童と中学校の生徒、地域の方々が話し合い、主体的に改善しようとする態度を養うことを目的として実施 (地域学校協働本部事業)	6月18日 1月28日	170人 児童・生徒 100人 大人 70人 (三島中学校区)	3つの小学校の代表者が中学校で、地域のためにできることや、児童生徒が地域活動に参画するためにはどうすればよいかというテーマについて活発な意見交換ができた。	
6	子ども夏まつり (地区内住民)	趣旨に賛同する地域の企業からの賛助金により、コミュニティの各部会が中心となって、スーパーボールすくい、抽選会、輪投げ、スイカ割、段ボール迷路を開催する。	8月3日	540人	子ども夏まつりを開催。地域企業に協賛金の協力を得て、コミュニティが中心となって夏まつりらしいすいか割りや水風船つりなどを開催した。子ども達が無料で自由に参加することができ地域住民と親子など世代間交流ができた。	
7	第36回西地区コミュニティ・西公民館まつり(市民)	西地区コミュニティと共催し、公民館事業や公民館利用団体による作品展示及び学習成果の発表と。併せてコミュニティの催し物等を開催し地域住民の交流を図る。	10月26日	800人	雨の中での開催となり、屋外でのステージ発表がすべて中止となってしまったが、作品展示や一品即売会のほか、小中学生の出店ブース、スポーツ少年団や児童クラブの模擬店などが増え、また西小全校生が描いた西地区マスコットキャラクターの投票など実施したところ、駐車場が満車になるなど多くの方の来場があり、世代間の地域住民の交流を図ることができた。	

8	感謝の会 (西小児童・地区内住民)	日頃からお世話になっている方(少年指導員、かやの実会、狩込どじょっこ会、農園協力者等)に、児童から感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事業)	10月8日	317人 児童285人 大人 32人	日頃からお世話になっている少年指導員等の地域の方々に学校に招待し、児童の手紙とお花を贈呈し感謝の意を伝えることができた。	
9	音楽鑑賞教室「箏教室」 (西小児童・地区内住民)	日本の伝統的な楽器演奏を直接鑑賞することで、情操を育み豊かにする。 (地域学校協働本部事業)	11月17日	62人 児童 54人 大人 8人	箏の演奏を聴くことにより我が国の伝統や文化への理解を深めることができた。また、和楽器の音楽の良さや美しさを感じとることができた。	
10	地域学校保健委員会(三島中学校区・地区内住民)	地域の方々と連携を図りながら学校保健活動を推進し、児童生徒の健康の保持増進を図る。 (地域学校協働本部事業)	12月18日	70人 児童生徒 40人 大人 30人 (三島中学校区)	「睡眠とメディアの関係を知ろう」をテーマに会議を実施した。東洋羽毛の方の専門的な話を聞くことができた。地域全体で健康の保持増進を進めていく重要性を確認できた。	
11	絵手紙講師による絵手紙教室 (西小児童)	6年生児童を対象として、卒業を見据え、保護者への感謝の気持ちを形あるものとして残すことで、より一層その思いを深める。 (地域学校協働本部事業)	1月20日	48人 児童 47人 講師 1人	保護者への感謝を込めた絵手紙を作成することで、改めて保護者への感謝の気持ちや卒業への思いを高めることができた。	
12	西小児童と高齢者の交流活動 (西小児童・地区内高齢者)	地域の高齢者の方々の協力を得て、西小学校1年生が、けん玉やおはじきなどの昔の遊びを教えてもらいながら交流を深める。 (地域学校協働本部事業)	9月12日	72人 児童 44人 高齢者28人	大人の方から昔からの遊びを教わったり、一緒に遊んだりする中で、昔の遊びの良さや楽しさを知り、地域の方と交流することができた。	
13	コミュニティ活動の育成支援 (西地区コミュニティ)	西地区コミュニティ運営委員会が行う各会議、事業の準備段階から、日時の調整、関係機関への書類提出補助、通知発送補助、他企画への参画及び情報提供することで支援した。	通年		コミュニティが行う各種事業の実施に当たり企画への参画及び情報提供等の支援を通して、地域住民全員が参加出来るような地域づくりの活動育成が図られた。	
14	自治公民館活動の支援 (地区内自治会)	備品の貸し出しを通して、自治公民館事業が円滑に実施できるよう支援した。	通年	-	自治公民館事業の実施にあたり備品等の貸し出しを行い、自治活動の活性化が図られた。	
15	自主グループへの支援 (西公民館定例利用団体)	定例的に利用している団体が年間を通して公民館を利用できるよう調整会議の開催や会員募集のちらしを張るスペースの提供を行った。	通年	-	同じ趣味を持ち活動している団体が年間を通し円滑に活動ができ、会員勧誘のちらしの掲示場所や活動成果の発表の場を提供することで、団体活動の活性化が図られた。	

16	地域学校協働本部 (三島中学校区)	定例会議や情報交換会等を行い、学校と地域の連携及び事業の推進を図る。	6月18日 1月28日	29人 28人	6月、1月に本部会議を実施。6月の第1回本部会議では「各地区コミュニティ・公民館まつりへの子どもたちのかかわり方」をテーマにグループワークを行い、様々な意見を出し合った。3月の第2回本部会議では事業報告計画のほか「三島公民館・三島コミュニティまつり」の事例発表を行い、それぞれ今後の事業の参考となった。	
17	三島中学生と高齢者交流事業 (三島中学生・地区内高齢者)	地域の高齢者と三島中学校1年生との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	実施なし	—	開催を見合わせた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	西小学校家庭教育学級 (西小児童・保護者)	親としての学びの場、友達づくりの場として子育て講演会や講座、親子活動を実施し、子育てへの理解を深め保護者同士の親睦を図る。 (家庭教育支援事業)	5月～2月 (全6回、中止1回)	(99人) (児童 52人) (保護者47人)	モノづくり体験をとおして、親子で協力し合い作業することで、親子同士のふれあいやコミュニケーションを深めることができた。また参加した親子同士手助けしながら親睦を図ることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第36回西地区コミュニティ・西公民館まつり(市民)	西地区コミュニティと共催し、公民館事業や公民館利用団体による作品展示及び学習成果の発表と。併せてコミュニティの催し物等を開催し地域住民の交流を図る。	10月26日	800人	雨の中での開催となり、屋外でのステージ発表がすべて中止となってしまったが、作品展示や一品即売会のほか、小中学生の出店ブース、スポーツ少年団や児童クラブの模擬店などが増え、また西小全校生が描いた西地区マスコットキャラクターの投票など実施したところ、駐車場が満車になるなど多くの方の来場があり、世代間の地域住民の交流を図ることができた。	施策4-No.7再掲

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年		定期点検で指摘を受けた受変電設備機器更新工事を施設維持のため修繕を実施した。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性の向上に必要なシステム及び地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入。	通年		オンライン予約システムの導入がされ、24時間予約が可能となった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館・コミュニティだよりの発行	公民館及びコミュニティが実施する事業について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	月1回発行	4月～3月 (12回)	公民館事業やコミュニティ行事の周知や報告など地域に向けた情報の発信ができた。	
2	なすしおばら生涯学習チャンネル MILK（見る・来る）	施策3-No.1再掲				

令和7（2025）年度 三島公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「こどもクラブ」 (三島小学校児童)	三島小全学年を対象に、様々な体験学習を通して子どもの豊かな創造力や感受性を育む。	7月～8月 (全5回)	41人	各回選択制の募集で実施。定員(15人)に達した回はなかったが、参加者アンケートではすべての回で高評価を得られた。	
2	【新規】 プログラミング工作教室 (三島小学校児童)	ICT事業の一環として、小学生がプログラミングを実際に体験することにより、プログラミングの基礎知識と楽しさを同時に学ぶ。	9月～11月 (全4回)	28人	各回選択制で募集。応用編の回では、万華鏡作り、ルーレットゲームなどを通して、児童のプログラミングへの興味をより深めることができた。	
3	郷土芸能伝承講座 「こどもおはやし会」 (三島小学校児童)	お囃子を練習し、地域伝統への理解を深めると共に、豊かな人間性を育成する。	5月～12月 (全17回)	15人 (218人)	3年連続で参加者が減少(R4:30人、R5:28人、R6:20人)。来年度は募集チラシの内容等に工夫をこらし、新規会員の拡充を目指す。	
4	高齢者学級「昴」 (地区内高齢者)	高齢者の健康や生きがいづくりのため、講話、ものづくり、娯楽など様々な講座を実施する。	6月～12月 (全7回)	16人 (89人)	コロナ過以降実施していなかった移動教室を組み込んだ、多岐にわたる内容で実施することができ、受講者の満足度も大きかった。	
5	女性学級「ふわり」 (地区内女性)	三島地区在住の女性が、ハツラツと健やかな毎日を過ごすため、「生活の知恵と工夫」「活動体験」「生活の安全」「ものづくり」などの学習機会の提供をする。	7月～12月 (全6回)	12人 (65人)	今年の受講者数は少なかったが、出席率は高く、学ぶことが楽しい様子が見てとれた。来年も新しい内容で提供できるように努めたい。また、公民館まつりでの作品展示も受講者の励みになった。	
6	夏の子ども劇場 (市民)	子どもたちに演劇鑑賞の機会を提供して情操を豊かにすると共に、家族で観劇することにより、世代間のつながりを深める。	7月26日	413人	400人を超える入場者数となり客席は大変混み合った(座席数485席)。アンケート結果では9割以上の好評価だった。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	【新規】 発酵DE健康に！ (市民)	心身共に健康で豊かな生活を送るために、発酵の基礎知識や発酵食品を食することによる身体へのプラス作用等について学習すると共に、調理実習を通して実体験する。また、発酵食品メーカーを視察し、専門的な知識を学習する。	11月～12月 (全4回)	20人 (74人)	出席率が高く、発酵食品に興味があり勉強熱心な方が多いと感じた。4回講座ではもの足りなさを感じられる方も多く、来年度も引き続きの開催を検討したい。	市民大学連携講座
2	【新規】 ミニ門松作り教室 (地区内住民)	ミニ門松作りを通して、新年を迎える準備と伝統行事への意識と理解を深める。	12月14日	18人	昨年度までのしめ飾り作りからミニ門松作りに変更し、地区回覧の他に小学校へのチラシ配布を行ったところ、参加者数が大幅に増加した。親子参加は6組あり親子間の交流を深めることもできた。	
3	【新規】 そば打ち教室 (地区内住民)	地元講師の指導にて、そばの打ち方を学び、日本の伝統料理作りを習得する。	12月21日	9人	講師2名の丁寧な指導により、そばの裁断までを終始なごやかな雰囲気ですべての実習することができた。	
4	三島地区グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	グラウンドゴルフを通して、地区住民の親睦と交流、健康増進を図る。	11月14日	34人	2年ぶりの実施(R6は雨天中止)。マイチャレンジ中学生によるイラスト入りプログラムの作成、競技体験、式の運営サポート等の世代間交流が大変好評だった。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	国際交流講座 「日本語教室」 (市内在住外国人)	在住外国人を対象とし、日本語の習得と学習者、指導者間の交流を深め、国際交流を図る。	4月～3月 (全33回)	25人 (172人)	今年度は初の試みとして外国人雇用者が多くいる市内企業等に募集チラシを送付、受講の呼びかけを行ったが期待した程の効果は見られなかった。	
2	日本語学習支援者 スキルアップ講座 (市民)	日本語教室での日本語支援をより充実させるために、支援ボランティアのスキルアップ及び新規支援者の確保と養成を図る。	3月21日 4月4日	27人 (46人)	日本語学習のエキスパートを講師に招いて実施。外国人への日本語支援法のノウハウについて学習した。	

3	【新規】 プログラミング工 作教室 (三島小学校児童)	施策1-2再掲				
4	【新規】 もしも?のときの 法律講座 (地区内住民)	生活に役立つ法律 等について、地域 住民へのサポート 等のスキルアップ のための基礎知識 を学習する。	9月5日	19人	相続に関する法律 や悪質商法の事例 等の講話を聴くこ とにより、日常生 活において注意す べき法律関連の知 識を習得できた。	
5	【新規】 救急法講習会 (地区内住民)	日常生活上の救 命、救急の基礎知 識を得ると共に、 AEDの使用法を学 び、事故等発生時 の適切な対応法を 習得する。	9月19日	10人	消防署員の指導で AEDの操作法や心 臓マッサージにつ いて学習した。	
6	【新規】 防災講習会 (地区内住民)	防災意識の向上を 図るために、講師 を招いて防災の基 礎について学習す る。	10月31日	12人	前半は駐車場で給 水訓練見学。後半 は市職員による防 災講話とダンボー ルベッドの組み立 て体験を行った。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	花いっぱい運動 (三島中学校区児 童・生徒、地区内 住民)	三島中学校区内の 小学校と自治公民 館等にプランター を設置。春と秋の 2回に分けて地域 住民と児童生徒が 協力して花を植え 替え、地域環境の 美化と児童の情操 を育む。 (地域学校協働本 部事業)	6月4日 11月19日	230人 (460人)	中学生が各出身小 学校に出向き、小 学生の作業のサ ポートを行いなが ら協働でプラン ターに花を植える ことができ、小中 一貫教育の成果を あげることができ た。また、公民 館、地域の方たち と共に活動する良 い機会となった。	
2	さわかサミット (三島中学校区児 童・生徒、地区内 住民)	三島中学校を会場 に、中学生と区内 3小学校の児童、 地域住民がグルー プワークを行い、 班ごとに協議結果 を発表する。 (地域学校協働本 部事業)	6月18日 1月28日	85人 (170人)	中学・小学校の代 表が、地域のお祭 りを盛り上げるた めにできること や、自分たちが地 域活動に参画する ためにはどうすれ ばよいかについ て、地域の人の助 言を得ながら活発 な意見交換ができ た。	
3	地域学校保健委員 会 (三島中学校区児 童・生徒、地区内 住民)	「睡眠の大切さと メディアについて ～三中学区の実態 から～」をテーマ に会議を実施す る。 (地域学校協働本 部事業)	12月18日	70人	東洋羽毛の上級睡 眠健康指導士を講 師に招き、学区内 の現状や睡眠と健 康の関連性など、 睡眠の重要性につ いて学び、意見交 換を行った。	

4	三中フェスティバル (三島中学校生徒)	文化祭に、生徒による合唱・演奏発表、作品展示などを通して、地域の方々との文化交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	10月31日 (三島中) 11月2日 (ホール)	646人	文化祭に関しては大正堂くろいそみるひいホールに会場を移して実施した。また、地域交流に関しては、感染症対策のため実施を見合わせ、保護者の参加のみとした。	
5	高齢者ふれあい交流事業 (三島中学校生徒、地区内高齢者)	地域の高齢者とふれあう機会を通して、生活の知恵や地域の伝統文化について理解し、豊かな人間性を育む。 (地域学校協働本部事業)	未実施		高齢者への感染症対策のため開催を見合わせた。	
6	七夕まつり (三島小学校児童、保護者、地区内住民)	コミュニティ、子供会育成会との共催で、七夕の飾付と紙芝居会などの伝統行事を行うことにより、児童の豊かな人間性を育む。 (地域学校協働本部事業)	7月5日～11日	130人 (7月5日参加者数)	育成会とコミュニティで協力して、竹の伐採、設営や飾りつけの指導等を実施後、読み聞かせボランティアによる紙芝居会を催し、児童への伝統行事の教養を深めることができた。	
7	開墾記念行事 (三島小学校児童)	6年生を対象に、地域の方を講師に招き、開拓の歴史について学習することで、郷土愛をより深める。 (地域学校協働本部事業)	4月15日	117人	ボーイスカウト野営場場長と地域の方の講話で、開拓当時の様子や先人たちの苦勞を知ること、自分たちの住む地域に誇りをもち、地域のためにできることは何かを考えることができた。	
8	三島小学校感謝の集い (三島小学校児童、地区内住民)	全校生対象で、日ごろお世話になっている地域の方々を招き、感謝の手紙の朗読や花束を贈るなどして、感謝の気持ちを伝える。 (地域学校協働本部事業)	11月14日	655人	お世話になっている地域の方々へ、感謝の言葉を表現した作品や花束を贈呈し、感謝の気持ちを伝えた。直接児童の気持ちを伝えることにより、地域の方たちの学校への関わりを深められた。	
9	三島かるた (三島小学校児童)	総合的な学習の時間にオリジナル地域かるたを製作することにより、地域をより深く知るためのきっかけ作りとする。 (地域学校協働本部事業)	1月～2月	104人	3・4年生の地域学習の一貫として、総合的な学習の時間に、地域かるたを製作。自分たちが住む地域を知るきっかけ作りになった。	

10	学習ボランティア (三島小学校5・6 年児童)	地域の方の力を借 りてクラブ活動で の指導をしてもら い交流すること で、郷土への愛着 を深める。 (地域学校協働本 部事業)	通年	340人 8人(ボランティア)	公民館を通して学 習ボランティアを 募集。5・6年生の 家庭科と4～6年生 の手芸・イラスト・ボーイスカウ トクラブ等で指導 補助をしていただ いた。細やかに教 えていただくこと で、子供たちが安 心して活動するこ とができた。	
11	第41回三島小学 校凧揚げ大会 (三島小学校児 童、保護者、地区 内住民)	子ども会育成会主 体の実行委員会が 体育センターグラ ウンドを会場に、 凧揚げコンクール と6年生製作の連 凧揚げを実施し、 最後に4年～6年生 で3つの大凧揚げ を行う。 (地域学校協働本 部事業)	1月18日	180人	当日は強風のため、 凧揚げにはあ いにくの天候だっ たが、参加した子 どもたちは元気 いっぱいだった。 コンクールには、 地区内の自治会長 が審査員として協 力した。最後に、 6年生全員のメッ セージが書き込ま れた大凧を上級生 が一致団結して揚 げた。	
12	どんど焼き (地区内住民)	地区の有志による 実行委員会が三島 神社境内を会場 に、どんど焼きを 行い、子どもたち への伝統文化の継 承を図る。 (地域学校協働本 部事業)	1月25日	350人	小学校への呼びか けにより、多くの 親子連れでにぎ わった。安全確保 のために鳥小屋周 辺に複数の点火台 を設置し、参加者 が持ち寄った繭玉 を焼くなど、世代 間交流を図ること が出来た。	
13	地域学校協働本部 (地区内住民)	定例会議や情報交 換会等を行い、学 校と地域の連携及 び事業の推進を図 る。(地域学校協 働本部事業)	6月18日 1月28日	29人 28人	6月、1月のさわや かサミット開催後 に続けて実施。6 月の会議ではサ ミットから繋げて 「各地区コミュニ ティ・公民館まつ りにおいて実現可 能な取り組み」を テーマにグループ ワークを行った。	
14	三島地区コミュニ ティ運営委員会 (地区内住民)	三島地区コミュニ ティ運営委員会の 活動を支援し、育 成・連携を図る。	通年		コミュニティが行 う各種事業の実施 に当たり、企画運 営の支援を通し て、地域づくりの 活動育成が図られ た。	
15	西那須野地区自治 公民館連絡協議会 (西那須野地区自 治公民館長)	各自治公民館事業 の情報共有や、先 進地視察研修会等 を実施し、各自治 公民館の活動を支 援する。(27自治 公民館)			令和7年3月に廃止 (解散)。	

16	自主グループ利用団体 (三島公民館定例利用団体)	各種情報の提供等により、自主グループ活動を支援する。(定例利用45団体)	通年		公民館まつりへの参加要請や施設清掃の呼びかけ等の協力依頼や情報提供等を随時実施。	
----	-----------------------------	--------------------------------------	----	--	--	--

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ひよこの会 (市内在住の1歳から未就園の乳幼児とその保護者)	市内の乳幼児を持つ親を学習対象とし、「子育て」に関する知識や親子同志のコミュニケーションを図ることを目的に、ものづくりや食育調理実習、親子ふれあい実習等を実施する。 (家庭教育支援事業)	5月～12月 (全12回)	親子16組 (288人) ※延べ人数は三島ホールで実施した「ママソウルコンサート」の一般参加も含む。	今年も様々な内容の講座を提供することができた。複数のボランティアグループに保育を依頼したことで、親だけで学習する回を4回確保することができ、楽しく無理なく学べたと好評だった。	
2	三島小学校家庭教育支援事業 (三島小学校児童、保護者)	教育講演会実施(生涯学習課主催)。夏休みに「白河まほろん」(古代体験)、「HONDAドリームハンズ」(段ボール工作)を実施。 新入生就学時健康診断時に親学習プログラム実施。 家庭教育支援事業通信「スマイル」(年4回)を発行。	7月～10月 (全4回)	155人	親子参加の教室を希望する保護者が多く、講演会は参加者が少ない。 7月5日に「教育講演会」を三島ホールで全市小学校親子対象で実施したが、出席者は少なかった。 学びの提供には内容はもちろん、工夫とタイミングが重要と感じた。	
3	三島中学校家庭教育支援事業 (三島中学校生徒、保護者)	三島中学校区地域学校保健委員会と共催で実施。三島中学校区各小学校による活動発表と講話を行う。 (家庭教育支援事業)	未実施		三中PTA研修部が廃止されたことに伴い、実施を見送った。	
4	三島中学校思春期講演会 (三島中学校生徒の保護者)	思春期の子どもたちの“ゆれる心”について理解を深め、親としての学びを得る講演会をPTA研修部との共催で開催する。 (家庭教育支援事業)	未実施		三中PTA研修部が廃止されたことに伴い、実施を見送った。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第37回三島公民館・三島コミュニティまつり (地区内住民)	三島地区コミュニティ運営委員会との共催により、三島公民館利用団体の活動発表、地域住民の交流を目的として例年開催する。	10月26日	1,400人	今年は雨天での開催となったが、当初計画時点から主会場を中庭、玄関前ビロティ付近に集約していたため大きな影響はなく、来場者も例年とほぼ変わらぬ盛況ぶりだった。また、大学生以下の学生・児童ボランティアを広く募り、準備から片付までの運営協力で大いに活躍し、多世代交流につながった。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館 (市民)	地域に身近な公民館を有効活用した地域づくりのため、誰でも自由に利用できるシェアスペース、貸館予約が24時間可能なオンライン予約システムを継続実施する。	通年	通年	・シェアスペースは学生の勉強利用が増加し、ほぼ毎日午後10時まで開放している。 ・オンライン予約システムは順調に稼働しており、貸館利用も増加している。	
2	計画的な改修及び修繕の実施 (市民、利用団体)	公民館利用や避難所開設時において、安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	通年	今年度から施設修繕等が包括管理体制に移行し、修繕対応が円滑になった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	公民館だよりの発行 (地区内住民)	公民館主催事業の募集等について、地区内住民へ周知するため、公民館だよりの「ひまわり通信」を適宜発行する。	適宜発行	—	SNSでの情報を得ることが困難な地区住民に向けて、公民館事業案内等の各種情報をタイムリーに発信することができた。	

令和7（2025）年度 大山公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	少年教室 「おおやま体験塾」 (地区内児童)	種々の体験活動を通して、子供の持つ豊かな感性や創造力を育てる学習機会の提供を図る。	5月～1月 (全10回)	20人 (166人)	定員超過の申込がある人気の教室で、普段できない体験活動に加え、親子間や子供同士が交流できる学習内容であった。親の積極的な参加や協力が今後の課題である。	
2	少年教室 「レッツダンス体験塾」 (地区内児童)	ヒップホップダンスの学びを通して、仲間との協調性、協力する大切さを会得し、体力の向上を図る。コミュニティまつりでの発表を目指す。	5月～10月 (全7回)	9人 (49人)	丁度良い人数だったこともあり、講師の目が行き届き充実した練習が行われた。また、全員そろって練習を行う機会が少なかったが、ダンスフォーメーション等、参加児童同士が協力し、まつりで発表するダンスを完成することができた。	
3	高齢者セミナー 「悠々大学」 (地区内高齢者)	高齢者が仲間との交流を深め、楽しく健康的な生活を送れるように、体験活動や健康・福祉等の講座を実施する。	5月～1月 (全9回) ※中止1回 (講師体調不良のため)	61人 (277人)	大学の目標としている「人と交わることの大切さ、そして人からの教を聴くことの意義」を、講座を通じ取り組まれていた。学習テーマにより多少参加人数にバラつきがあったが、仲間との交流を深め楽しく活動することができた。	
4	大山カレッジ (市民)	市内の市民を中心とした、学習意欲を刺激し、生涯学習のきっかけとなるための一助とする。	8月～2月 (全7回)	18人 (64人)	今年度は、草木染・韓国料理教室の講座を開催した。参加者からは概ね好評だった。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	市民大学「日本遺産認定 日本酒の味わい方と燗製づくり講座」 (市民)	日本酒の伝統的造りがユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念して、日本酒の味わい方等を学習する。また、お酒に合うおつまみとして燗製づくりを実施することで、参加者同士の交流を図る。	10月～11月 (全6回)	30人 (74人)	受講者は幅広い年代で男女どちらからも興味を持ってもらえる内容であり、その中でも公民館の講座に参加するのは初めてという人もおり、今後も公民館講座などに参加していただける契機になった。また、受講者同士、交流する時間も多く楽しく学ぶことができ、食の楽しみ方が広がる講座となった。	市民大学連携講座

2	大山健康ハイキング (地区内住民)	ハイキングを通して、地域住民の健康維持、体力の向上と参加者の親睦、交流を図る。	10月22日	27人	熊の出没が多かったため、安全な場所を考え、姉妹都市である『ひたちなか市』のひたち海浜公園等の散策を実施した。紅葉（コキア）が見頃だったこともあり参加者からは概ね好評だった。	
3	ラジオ体操 (地区内住民)	地域住民の健康増進及び居場所づくりのため、公民館にてラジオ体操を実施する。	週1回 (水曜)	263人	毎週参加する方の定着や長期休暇中の児童クラブ内児童の参加など、少しずつ盛り上がりを見せている。引続き本事業を実施していきたい。	

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ICT推進講座 (地区内児童)	おおよま体験塾の講座の一コマでプログラミング教室を那須清峰高校生との交流を通して実施する。	8月23日	13人	地元高校の協力により、高校生が説明や指導を優しく務め、初めてプログラミングを体験する参加児童は安心して学ぶことができた。また、説明も分かりやすく、プログラムの作り方など楽しく体験することができた。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	夏休み親子木工工作教室 (地区内児童、保護者)	親子での協同作業を通して、ふれあいを深めるとともに、心に残る夏の思い出づくりとする。	8月3日	37人	親子でのふれあう機会を提供して、木工キットをのこぎり、クランプ等の道具を使って加工し、協同作業により作品を仕上げた。	
2	西那須野地区親善 グラウンドゴルフ 大会 (地区内高齢者)	コミュニティ相互の連携と親睦・交流を図る。	中止	—	天候不良のため中止となった。	
3	世代間交流グラウンドゴルフ大会 (地区内住民)	地域住民の親睦と健康増進を図るために実施する。公民館の講座とタイアップをして、参加者の確保に努める。	11月22日	61人	体育レク部会と高齢者部会の合同協力をいただき、安全に実施できる体制を確認しながら、世代間の交流が大いに図れた。	
4	第32回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	利用団体による学習成果の発表とコミュニティが中心となったさまざまな催し物を通して、地域住民のふれあいを深める。	10月12日	500人	地区内の学校や自主サークルによる発表・作品展示、公民館講座の紹介など、各種催し物により多数の来場者が楽しんでいた。公民館や地区内学校、利用団体の活動を多くの来場者に周知できたとともに、地区内住民の交流に寄与できた。	
5	第31回大山地区コミュニティどんどん焼き	大山コミュニティ・大山小学校・育成会との連携で、地域の伝承行事を実施する。(学校教育と社会教育の連携)	1月9日	500人	地域住民の協力を得ながら事前準備を行い、トリ小屋の規模を縮小するなど工夫して地域の伝承行事を継承することができた。	

6	花いっぱい運動	コミュニティ広場の環境整備を通して、地区内の高齢者と那須特別支援学校生徒との交流を図る。	6月5日 11月6日	100人	地域の高齢者と生徒による花壇整備、花苗植栽が地域行事として定着してきている。双方の協同作業が有意義な交流事業へと育っている。	
7	大山小さな旅 (地区内住民)	地域住民の親睦と交流を図るとともに、参加者の見聞を広める一助とする。	11月14日	44人	宮城方面の見所や食を知るとともに、地域住民の親睦と交流を図ることができた。	
8	お正月用ミニ門松 作り教室 (地区内児童、保護者、住民)	お正月飾りの意味を学び、参加者自ら作製したミニ門松でお正月を迎える喜びを味わう。	12月20日	22人	親子でのふれあう機会を提供し、ミニ門松キット使って作品を仕上げた。	
9	伝承活動継承事業	伝承行事であるどん どん焼きの繭玉だん ごづくりやどん どん焼きの準備を通 して、地域の文化と技 術の伝承、児童と高 齢者の交流を図る。 (地域学校協働本部 事業)	1月9日	120人	大山小児童によるた きぎ拾いやまゆだま だんご作り、児童代 表によるどん どん焼きについての作文披 露、各育成会の代表 児童による点火な ど、地域の伝承行事 ということを体験し てもらう良い機会と なった。	
10	自然体験農園活動 (稲作栽培)	児童が地域の農業従 事の方に指導をいた だき、農業体験を通 して、食の大切さを 学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部 事業)	5月1日	121人	農業体験を通して、 自然の恵みに感謝す る心が育まれ、地域 の方とふれあうこと が出来た。また、自 然、大地に直接触れ る機会もあり大変貴 重な体験が出来た。	
11	自然体験農園活動 (さつまいも栽 培)		6月6日 11月7日	112人 112人		
12	大山地区ウォーク ラリー (地区内児童)	大山地区内にある田 園空間サテライト等 をめぐり、地域にあ る身近な遺産にふれ ることで関心を深 め、自分が住んでい る地域に対する誇り と愛着の醸成を図 る。 (地域学校協働本部 事業)	12月13日	38人	高学年は大山地区内 にある日本遺産等の 史跡をめぐり、クイ ズ等で楽しみながら 知識を得るととも に、地域に対する愛 着の醸成を図ること ができた。低学年は 公民館内を会場に他 学年でチームを組み 様々なアトラクショ ンを楽しみながら協 力してクリアしてい た。また、多くの人 の協力によりスムー ズに実施できた。	
13	思春期講座	性教育の授業を参観 し、思春期を迎える 子どもへの接し方を 学ぶ機会とする。 (地域学校協働本部 事業・家庭教育支援 事業)	2月20日	247人 (児童237人保護者10人)	参観する保護者が少 なかったが性につい て親子で学ぶよい機 会となった。	
14	コミュニティ育 成・支援・連携	コミュニティ活動を 育成、支援すると共 に、種々の地域活動 と連携を図る。 また、地域学校協働 本部の定着と協働活 動の推進を図るため に、方向性を決めて 取り組んで行く。	通年	—	本会及び部会事業へ の活動支援等を通し て、継続して地域力 の向上に努めた。	
15	自治公民館活動 支 援	活動への指導、助言 を行うとともに、情 報提供を行うなどの 地域活動を支援す る。	通年	—	自治公民館への地区 活動への支援を行っ た。今後も継続す る。	

16	公民館利用団体の育成支援	情報の提供を行うとともに、自主活動を支援する。	通年	—	利用団体説明会開催、活動環境等の充実を図った。	
17	大山ギャラリー	学校や利用団体、地域住民の作品を展示し、発表の場として支援する（施設の有効活用）。	通年	—	様々な作品を月替わりで展示したことで、作品を見に来る人もおり、施設を有効に活用できた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	夏休み親子木工工作教室	施策4-1再掲				
2	お正月用ミニ門松作り教室	施策4-8再掲				
3	味噌作り (地区内児童、保護者、住民)	親子で協力して味噌づくりをすることにより親子の触れ合いの場を提供する。	2月7日	27人	親子の協同作業により手作り味噌を作った。作った味噌が食べられるようになるまで楽しみとの声がある人気の講座である。	
4	思春期講座	施策4-13再掲				

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	第32回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	施策4-4再掲				

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な改修及び維持管理に必要な修繕を実施する。	通年	—	必要な修繕を実施し、利用者が安全安心に利用できる環境を整えることができた。	
2	スマート公民館に向けた取組	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	—	公民館のオンライン予約システムの稼働開始など、少しずつではあるがスマート公民館として動き始めたところである。	
3	第32回大山公民館・大山地区コミュニティまつり	施策4-4再掲				

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	コミュニティ広報紙の発行	コミュニティが実施する事業の募集や報告について、地区内住民へ周知するため、広報紙を発行する。	適時発行	—	公民館広報紙「大山のひろば」とコミュニティ広報紙「遊歩道」を分けて発行し、それぞれの目的に合った広報活動ができたと考える。	

令和7(2025)年度 ハロープラザ事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者学級 「やしお大学」 (地区内高齢者)	高齢者が楽しく生き生きと暮らせるように教養、健康、娯楽、仲間づくりをメインに実施する。	5月～1月 (全8回)	27人 (181人)	各種講座と通じ仲間づくりを行うことが出来た。また、講座にて作成した作品をハロープラザまつりに展示するなど参加者の満足度を上げることができた。	
2	大人の教養講座 「草木染め」 (地区内住民)	季節の草花を利用し、自宅でもできる草木染の技法を学ぶと共に参加者同士の交流を図る。(塩原公民館と共催)	8月23日 9月28日 2月21日	15人 (41人)	季節感のある材料を使用することで参加者の満足度を高めることが出来た。途中、ティータイムを設け参加者間の交流も深めることができた。	
3	大人の教養講座 「冬の寄せ植え教室」 (地区内住民及)	季節の草花の寄せ植えすることで、参加者の各家庭で四季を感じてもらおう。	12月13日	18人	寄せ植えの技法を学ぶとともに、参加者同士の作品を鑑賞した。冬を彩る全8品の花々で仕上がった作品に参加者の満足度も高かった。	
4	大人の教養講座 「ミニ門松づくり教室」 (地区内住民)	お正月飾りとして歳神様を迎えるためのミニ門松の作製を通して、地域住民間の交流を図るとともに日本の伝統文化の継承意識を高める。	12月21日	11人	ミニ門松の作製過程において参加者間の交流を深めることができ、使用する材料の意味を通して日本の伝統文化を学ぶことができた。	
5	少年教室 「わんぱくチャレンジ塾」 (地区内児童・保護者)	小学生を対象とした体験教室、移動教室などで子供たちの好奇心・知識欲を刺激し、チャレンジ精神を高揚を図る。	6月～12月 (7回)	22人 (138人)	各種体験活動を通じ仲間づくりが図れた。移動教室では「ツリークライミング」に挑戦し、児童たちの一体感の醸成を図ることができた。	
6	味噌づくり教室 (地区内住民)	手作り味噌を自ら仕込み、味噌本来の美味しさや先人の知恵である発酵食品の良さを体験する。(塩原公民館と共催)	2月14日	21人	毎年ここでの味噌づくりが恒例の家庭も多く、参加者からは毎年の開催を要望されている。	
7	キムチづくり教室 (地区内住民及)	地元韓国料理店「春香伝」に講師を依頼し、地域の人材育成と参加者の交流を図る。	3月14日		講師が体調不良により緊急入院となったため中止。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハイキング(夏・秋) (地区内住民)	ハイキングを通して健康増進と参加者相互の交流を図る。 (夏：塩原公民館と共催)	5月27日 10月25日	32人	森林浴を楽しみながら参加者相互の交流が図れた。	

2	郷土史講座（塩原を掘る）（市民）	「第2次大戦時の塩原」と「塩原と文学」をテーマに、塩原が発展に至った歴史について様々な視点から学ぶことで郷土愛を深める。	9月6日 9月13日 9月20日	39人 (81人)	「塩原と戦時疎開」、「終戦時の総理 鈴木貫太郎の妻 鈴木たか」及び「塩原と文学シリーズ 与謝野晶子後編」と題して、それぞれの塩原温泉との関わりを学び、郷土愛を深めることができた。満足度も高く、来年も参加したいとの声があり、今後も地元根差した歴史・伝統・文化を中心とした講座を期待しているといった声も上がっている。	市民大学連携講座
---	------------------	--	------------------------	--------------	--	----------

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマホ活用講座 (地区内住民)	初心者・シニア向けのスマホ講座を実施し、スマホの基礎知識の習得、日々の生活の中で活用できるようにする。（塩原公民館と共催）	3月15日 (全2回、中止1回[講師都合])	10人	塩原公民館と合同で開催。初心者・シニア向けに、スマホの基本操作や情報の検索方法、LINEアプリ等のコミュニケーションツールの活用方法などについて講座を実施した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	郷土の歴史探訪 (市民)	常根地区に関わりのある史跡等を見学し、郷土の歴史への理解を深めると共に生涯学習意欲の啓発を図る。 ・会津藩が江戸まで運んだ廻米・物資輸送（陸運・水運）ルートを学ぶ。	6月8日 7月20日 8月24日 10月5日 (全4回、中止1回)	24人 (47人)	会津西街道塩原回りルート、鬼怒川舟運路及び陸運の主要地区・白河の史跡を巡り、当時の地域への理解・知識を深めることができた。	市民大学連携講座
2	ハロープラザ地区 子供会育成会連絡協議会支援 (地区内児童、保護者)	ハロープラザ地区子供会育成会連絡協議会活動の支援を行う。	通年		育成会活動に必要な各種手続などの支援を行った。また、学校の新入生保護者説明会に参加し、新会員募集を行った。	

3	ハロープラザ地区 子供会育成会連絡 協議会事業 (地区内児童、保 護者)	単位子ども会では 取り組めない事業 の支援や旧塩原町 時から続く「塩原 かるた」を使って のかるた取り大会 を行う。 ①チャレンジラン キング ②星空観察会 ③子ども会対抗か るた取り大会	①9月21日 ②12月26日 ③1月18日	40人 31人 60人	子ども会に加入し ていない児童も参 加できるイベント を開催し、子供た ちの仲間づくりに 寄与できた。また 伝統の「かるた取 り大会」を実施す ることで郷土愛の 醸成を図ることが できた。	
4	サマースクール (地区内児童)	地域内義務教育学 校と協働し、地域 の方を講師とした 地域内児童に向け た宿題や体験学習 を実施する。(塩 原公民館と共催)	7月27日	20人	「書道」「木工工 作」「トートバッ クづくり」に別れ て実施。最後に完 成した作品を全員 で鑑賞し、交流を 図ることができ た。	
5	箒根学園地域学校 協働本部会議	地域学校協働本部 事業に関して、情 報及び意見交換を 行い、学校と地域 との連携を図る。 (地域学校協働本 部事業)	8月、2月 (2回)	18人 (44人)	各種事業の説明、 結果報告を行い情 報共有を図った。 花いっぱい運動で 植栽したパンジー のプランターを地 域内13か所に設置 した。	
6	箒根学園地域学校 協働本部事業 (児童生徒・保護 者・地域住民)	各種事業を通し、学 校と地域との協働・ 交流を図るため、以 下の事業を実施し た。 ・和太鼓実習 ・琴演奏体験 ・スキー教室 ・農作業体験・米づ くり学習 ・ふるさと学習 ・花いっぱい運動 ・防災学習/コミュ ニ ティまつりへの参 加 ・地域行事/まつり 等 への協力 (地域学校協働本部 事業)	5～2月 (19回)	243人 (781人)	地域の皆様の協力 により、郷土の歴 史・産業・文化へ の見識を深めると ともに協力者への 感謝の気持ちを醸 成することができ た。花いっぱい運 動で設置したプラ ンターに児童生徒 の活動を表示し、 地域への周知及び 景観美化に取り組 むことができた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	箒根学園家庭教育 支援事業 (箒根学園児童生 徒及びその保護 者)	①ボックスプラネタ リウムを作ろう(対 象:4年児童と保護 者) ②万華鏡を作ろう (対象:3年児童と 保護者) ③ブドウの収穫体験 とワイナリー見学 ④親子うどん打ち体 験 ⑤クリスマスリース を作ろう(2年児童 と保護者) ⑥コサージュを作ろ う(対象:6年児童 と保護者)	9月18日 10月3日 10月11日 12月6日 12月12日 3月13日	301人	親子活動を中心に 実施。ものづくり や地元産業の見学 などを通じ親子の コミュニケーション、保護者同士の 親睦を図ることが できた。	

2	箒根地区合同家庭学級（箒根学園児童生徒及びその保護者）	移動教室（益子陶芸美術館と宇都宮地方裁判所見学）	9月19日	16人	子どもたちの社会科学見学場所を大人の視点で見学し、その目的を理解するとともに、参加者間の交流、家庭での親子のコミュニケーション機会を提供できた。	
---	-----------------------------	--------------------------	-------	-----	--	--

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハロープラザまつり	主催講座（教室）や地区内義務教育学校、公民館利用団体の発表を通して、地域住民との交流を図る。	10月26日	300人	自主サークルの作品展示や発表、公民館事業の紹介、箒根学園全児童生徒の作品展示など地域住民の交流や生涯学習に寄与できた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	計画的な改修及び修繕の実施	公民館利用・避難所開設時において安全安心に利用できる環境を整えるため、建物等の計画的な回収及び維持管理に必要な修繕を実施する。 令和7年度：デジタル回線による通信環境整備・電話機交換設備等設置	通年		施設の老朽化に伴う設備・機器等の更新、破損個所などを随時修繕し、社会教育施設を維持管理している。	
2	スマート公民館に向けた取り組み	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年		全15公民館にオンライン予約システムのスムーズな運用、地域住民の居場所づくりのスペースとしても活用できた	
3	公民館利用団体等育成支援	公民館利用団体と連携を図り、情報の提供及び団体相互の交流活動を支援する。	通年		調整会議を開催することなく、利用調整を行うことができた。オンライン予約の案内、情報提供も対応できた。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	ハロープラザだよりの発行（地区内住民）	地区内住民に向けてハロープラザ等の事業の募集・報告等を告知する。	4月～3月 (12回)		地域内住民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知ができた。	
2	ハロープラザ関連ホームページの更新（市民）	市民に向けてハロープラザ等の事業の募集・報告等を周知する。	4月～3月 (12回)		市民に向けて公民館事業の募集、報告などの情報周知ができた。	

令和7(2025)年度 塩原公民館事業報告

1 ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	高齢者いきいき講座 (地区内高齢者)	高齢者向けの講話や健康体操、物作りを通して高齢者の生きがいづくりを図る。	6月～3月 (全6回)	71人	どの講座も、参加者たちは生き生きと笑顔で参加しており、健康づくりやお互いのコミュニケーションの向上に寄与することができた。	
2	サマースクール (地区内小学生)	充実した夏休みになるよう、小学生を対象とした物作り教室を実施する。	7月27日	22人 ※塩原地区4人	ハロープラザと合同で開催。木工工作等を通じて物作りの楽しさを感じることができた。	
3	親子ふれあい講座 (市民)	親子でふれあえる体験型教室(カジカ釣り)を開催し、親子のコミュニケーション向上を図る。	8月24日	21人	身近な河川の自然と大切さについて、カジカ釣りを通じて親子で学ぶことができた。	市民大学連携講座
	親子ふれあい講座 (地区内住民)	親子で作れる物作り(クリスマス飾り)教室を開催し、親子のコミュニケーション向上を図る。	11月30日	11人	物作りを通じて、親と子のコミュニケーションを向上することができた。	
4	女性かがやき講座 (地区内女性住民)	充実した生活が送れるよう教養講話や実技講習など各種教室を開催する。	3月11日	5人	竹細工を通じて参加者の親睦を深めることができた。	

2 人生100年時代を豊かに生きるために必要な学びの提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	初夏のハイキング (地区内住民)	福島県西郷村の新甲子遊歩道をハイキングし、参加者の健康維持を図る。	5月27日	16人 ※塩原地区4人	ハロープラザと合同で開催。今回は2時間程度の緩やかな遊歩道をコースとして選定したため、問題なく終了することができた。	
2	健康アップ教室 (地区内住民)	楽しく運動を行い、健康意識の向上と脳の活性化を図り、心身共に健康維持を目指す。	6月 (全2回)	11人 (22人)	初級のヨガ教室を実施。参加者たちは熱心に体を動かすことができた。	
3	草木染め講座(地区内住民)	藍、玉ねぎ、桜等の植物を使った染物講座を開催し、参加者の親睦を図る。	9月～2月 (全3回)	19人 ※塩原地区2人 (50人)	ハロープラザと合同で開催。初心者向けの講座であったが、各回の参加率もよく、参加者同士の親睦を深めることができた。	
4	夜間教養講座(地区内住民)	革を加工したレザークラフト作品作りを実施する。受講生が革を選び、好きな作品を作る。	10月 (全4回)	5人 (18人)	初心者から上級者まで幅広いレベルの参加となり、熱意ある参加者の熱い講座となった。	
5	滝巡り講座(市民)	雄飛の滝線歩道及び大沼自然公園を散策し、地域の自然を学びながら、参加者同士の交流を図る。	10月24日	7人	紅葉には少し早かったが、雄飛の滝などを見学でき、参加者の満足度が高い内容となった。	市民大学連携講座
6	ミニ正月飾り作りを作ろう(地区内住民)	正月飾りの制作を通じて、参加者同士の親睦を図る。	12月20日	12人	申込受付直後に定員になるほど人気があった。また参加者たちも和気あいあいと作業をすることができた。	

7	味噌づくり講座 (地区内住民)	プロの指導の下、味噌を仕込みながら、参加者同士の親睦を図る。	2月14日	25人 ※塩原地区2人	ハロープラザと合同で開催。味噌づくりを通じて参加者たちの親睦を深めることができた。	
---	--------------------	--------------------------------	-------	----------------	---	--

3 現代的課題に応じた学習機会の提供

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	マイナンバーカード講座 (地区内住民)	マイナンバーカードの基礎知識を習得し、日常生活の中で活用できるようにする。	8月6日	12人	出前講座を活用し、デジタル推進課職員よりマイナンバーカードについて説明を受けたが、予定時間よりもかなり早い時間で終了してしまった。時間が余ってしまったので、急遽みるメール等の説明をもらったが、全体の進行について検討を要する結果となった。	
2	スマホ活用講座 (地区内住民)	スマホの基礎知識を習得し、日々の生活の中で活用できるようにする。	3月15日	5人 ※塩原地区1人	ハロープラザと合同で開催。初心者・シニア向けのスマホ講座を実施した。	

4 地域、学校、各種団体・企業等の多様な主体との連携・協働の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	菊づくり教室 (塩原小中学校生徒)	小中学校8年生を対象に菊づくりを通して植物を育てる楽しみと仲間づくりを図る。 (地域学校協働本部事業)	5～10月 (全6回)	5人 (30人)	菊の栽培技術の習得。講師と中学生との交流を図ることができた。	
2	箒川リフレッシュ大作戦 (地区内園児・塩原小中学校の児童・生徒とその保護者、関係団体)	児童、生徒、園児、地域住民や関係団体が一体となり箒川の清掃・美化活動を行う。また、河川について学び、水に親しむことをとおして園児、児童生徒だけでなく地域住民や地域の自然との交流を図る。 (地域学校協働本部事業)	7月22日	90人	地元の漁協やコミュニティ等の協力を得て実施。塩原小中学校児童生徒と認定こども園園児が参加し交流を深めた。河川について知識を深め、水遊び等で水に親しめた。	

5 家庭教育の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
2	塩原小中学校家庭教育支援 (塩原小中学校保護者)	視察研修などを通して家庭教育力向上と保護者同士の交流・親睦を図る。	6月20日	2人	視察研修を企画したが、参加者が少なかったため、中止とした。	
3	レザークラフト教室 (塩原小中学校生徒、保護者)	立志式にあわせてレザークラフト教室を実施する。	2月3日	12人	親子でレザークラフトに挑戦。親子の親睦を図ることができ、立志式の良い思い出とすることができた。	

6 学びの成果を生かす取組の推進

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原温泉コミュニティ・公民館まつり (地区内住民、利用団体、市民)	公民館事業やサークル団体の学習成果の発表、コミュニティでの催し物等を通して地域住民の交流を図る。	10月5日	800人	公民館活動やサークル団体の活動発表を実施した。コミュニティや塩原小中学校PTAが行った模擬店などで訪れた人々を楽しませることができた。	

7 公民館の機能の充実と活用

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	スマート公民館に向けた取組（市民、利用団体）	公民館の利便性向上に必要なシステム及び、地域住民の居場所づくりのために必要な設備の導入	通年	-	令和7年4月から公民館使用料をキャッシュレス決済することができるシステムを導入した。	
2	学習・読書スペースの提供（地区内住民）	住民が気軽に利用できる学習の場を提供する。	通年	-	主に学生の利用が多かった。	

8 公民館関連情報の提供及び相談体制の充実

No.	事業名 (対象)	事業内容	期日 (回数)	受講者数 (延べ人数)	評価	備考
1	塩原公民館だよりの発行（地区内住民）	公民館事業等の情報提供のための広報紙を発行。	月1回発行	-	地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
2	市ホームページでの情報発信（市民）	公民館事業等の情報提供を市ホームページで実施。	随時	-	市民に事業実施状況等の情報提供ができた。	
3	塩原テレビでの情報発信（地区内住民）	塩原テレビで「行政情報局」として公民館事業等の情報を発信する。	3ヶ月に1回		地区内住民に事業実施状況等の情報提供ができた。	

令和7年度 公民館利用状況一覧表

1. 各部屋、グラウンド（多目的広場）、体育館、ゲートボール場、屋外ステージの利用実績

令和8年3月31日現在

公民館名	①主催・共催 【免除】		②市・市の機関 【免除】		③その他の免除団体 【免除】		小計(①～③) 【免除】		④有料利用 【一般料金】			⑤目的外利用 【4倍料金】			合計		
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	収入額	件数	利用者数	収入額	件数	利用者数	収入額
黒磯	133	3,787	624	15,180	492	7,109	1,249	26,076	1,572	15,359	428,650	34	483	47,200	2,855	41,918	475,850
厚崎	96	2,330	212	4,001	244	3,040	552	9,371	1,944	14,565	340,550	9	46	14,600	2,505	23,982	355,150
稲村	96	3,054	167	1,400	595	11,047	858	15,501	1,241	11,161	314,150	14	170	9,200	2,113	26,832	323,350
とようら	54	879	131	1,298	230	3,612	415	5,789	363	1,936	45,300	0	0	0	778	7,725	45,300
鍋掛	94	1,550	79	1,199	231	4,351	404	7,100	766	8,432	169,600	1	7	600	1,171	15,539	170,200
東那須野	172	4,867	104	1,497	390	4,961	666	11,325	1,510	12,532	387,700	5	37	6,800	2,181	23,894	394,500
高林	97	4,144	137	2,812	282	2,656	516	9,612	754	5,115	197,250	6	108	13,800	1,276	14,835	211,050
西那須野	114	3,704	325	5,614	757	9,934	1,196	19,252	2,476	25,282	534,200	36	221	40,200	3,708	44,755	574,400
狩野	86	1,815	66	1,902	429	6,944	581	10,661	1,130	8,589	323,250	2	16	2,400	1,713	19,266	325,650
南	56	3,341	96	1,259	141	3,473	293	8,073	1,049	8,975	288,450	0	0	0	1,342	17,048	288,450
西	148	3,297	40	1,949	572	10,525	760	15,771	1,059	9,691	242,900	1	16	600	1,820	25,489	243,500
三島	152	3,913	139	2,395	369	5,128	660	11,436	1,371	14,277	205,800	8	99	6,600	2,039	25,812	212,400
大山	116	3,219	72	2,088	257	7,649	445	12,956	981	9,667	283,500	1	24	3,000	1,427	22,647	286,500
ハローブラザ	35	813	174	5,292	173	2,659	382	8,764	424	2,825	100,650	5	83	9,200	811	11,672	109,850
塩原	37	713	182	3,018	120	2,093	339	5,824	304	1,859	33,950	1	8	400	644	7,691	34,350
計	1,486	41,426	2,548	50,904	5,282	85,181	9,316	177,511	16,944	150,265	3,895,900	123	1,318	154,600	26,383	329,105	4,050,500

【凡例】
※フリースペースや施設内の入居団体（児童クラブ等）の利用に関しては、公民館の貸館事業ではないために、計上していない。
①主催・共催 ……公民館が主催する、共催する利用。後援、協賛、協力等の利用は除く。
②市・市の機関 ……①以外の那須塩原市役所担当部署の利用。市立学校・市立保育園、市の事務従事団体の利用を含む。
③その他の免除団体…①、②以外の免除該当団体の利用（自治会、学校PTA、育成会等）。
④有料利用 ……自主グループ等の利用。
⑤目的外利用 ……会社等の利用。

2. 夜間照明施設の利用実績

令和8年3月31日現在

公民館名	①主催・共催 【免除】		②市・市の機関 【免除】		小計(①～②) 【免除】		③有料利用 【一般料金】			④目的外利用 【4倍料金】			合計		
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	収入額	件数	利用者数	収入額	件数	利用者数	収入額
鍋掛	0	0	0	0	0	0	110	1,965	49,000	0	0	0	110	1,965	49,000
南	0	0	0	0	0	0	71	1,925	29,000	0	0	0	71	1,925	29,000
計	0	0	0	0	0	0	181	3,890	78,000	0	0	0	181	3,890	78,000

【凡例】
①主催・共催 ……公民館が主催する、共催する利用。後援、協賛、協力等の利用は除く。
②市・市の機関…①以外の那須塩原市役所担当部署の利用。市立学校・市立保育園、市の事務従事団体の利用を含む。
③有料利用 ……①、②、④以外利用（自主グループ、地域団体等）。
④目的外利用 ……会社等の利用。

那須塩原市公民館

黒磯公民館

厚崎公民館

稲村公民館

とようら公民館

鍋掛公民館

東那須野公民館

高林公民館

西那須野公民館

狩野公民館

南公民館

三島公民館

西公民館

大山公民館

ハロープラザ

塩原公民館